

令和 7 年度福島県知的障害者福祉協会定期
総会及び第 1 回施設長・管理者等連絡協議会

令和 7 年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び
第 1 回施設長・管理者等連絡協議会 次第

日時 令和 7 年 4 月 2 5 日 (金)

9 : 3 0 ~ 1 2 : 4 0

場所 郡山総合福祉センター 5 階集会室

- 1 開会宣言
- 2 会長挨拶
- 3 中央情勢報告
- 4 議事録署名人指名
- 5 議長選出
- 6 議 事

【協議事項】

(1) 議案 1

令和 6 年度事業報告及び収支決算報告 (事務局・部会・委員会)

- | | | | |
|---------------|---------|---------------------|---------|
| ・日本・東北・福島福祉協会 | ～ P 3 | ・会長・事務局 | ～ P 5 |
| ・児童発達支援部会 | ～ P 1 5 | ・障害者支援施設部会 | ～ P 2 1 |
| ・日中活動支援部会 | ～ P 2 4 | ・地域支援部会 | ～ P 2 6 |
| ・生産活動・就労支援部会 | ～ P 2 9 | ・支援スタッフ部会 | ～ P 3 1 |
| ・人権・倫理委員会 | ～ P 3 5 | ・政策委員会 | ～ P 3 7 |
| ・研修委員会 | ～ P 3 8 | ・福島県自立支援協議会地域生活支援部会 | ～ P 4 2 |

(2) 議案 2

令和 7 年度事業計画及び収支予算 (事務局・部会・委員会)

- | | | | |
|---------------|---------|------------|---------|
| ・日本・東北・福島福祉協会 | ～ P 5 5 | ・会長・事務局 | ～ P 5 7 |
| ・児童発達支援部会 | ～ P 6 1 | ・障害者支援施設部会 | ～ P 6 4 |
| ・日中活動支援部会 | ～ P 6 6 | ・地域支援部会 | ～ P 6 8 |
| ・生産活動・就労支援部会 | ～ P 7 0 | ・支援スタッフ部会 | ～ P 7 2 |
| ・人権・倫理委員会 | ～ P 7 5 | ・政策委員会 | ～ P 7 7 |
| ・研修委員会 | ～ P 7 8 | | |

【報告事項】

(3) 令和 7 年度予算編成等に対する要望事項回答について ～ P 8 1

(4) 第 6 1 回全国知的障害福祉関係職員研究大会について ～ P 8 2

- 7 部会協議会
- 8 その他
- 9 閉会宣言

議 案 1

令和 6 年度事業報告及び収支決算報告
(事務局・部会・委員会)

令和6年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動報告

(1) 日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
全国知的障害関係施設長等会議	令和6年7月11日(木)～12日(金)	東京都	集合開催
日中活動支援部会全国大会	令和7年1月29日(水)～30日(木)	埼玉県	集合開催
障害者支援施設部会全国大会	令和6年12月19日(木)～20日(金)	広島県	集合開催
全国知的障害福祉関係職員研究大会	令和6年10月3日(木)～4日(金)	福井県	集合開催
全国グループホーム等研修会	令和6年9月12日(木)～13日(金)	兵庫県	集合開催
相談支援・就業支援セミナー	令和6年10月24日(木)～25日(金)	東京都	集合開催
全国障害者芸術・文化祭	令和6年10月14日(月)～11月24日(日)	岐阜県	集合開催
全国障害者スポーツ大会	令和6年10月26日(土)～28日(月)	佐賀県	集合開催
全国会長・事務局長会議	令和6年10月30日(水)～31日(木)	東京都	集合開催
全国児童発達支援施設運営協議会	令和6年11月25日(月)～26日(火)	福岡県	集合開催
リスクマネジャー養成研修会(上級)	未定	未定	未定
リスクマネジャー養成研修会	令和6年11月27日(水)～29日(金)	東京都	集合開催
部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議	令和7年3月6日(木)～7日(金)	東京都	集合開催

(2) 東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
令和6年度第1回合同委員会及び理事会・監事会、研修委員会	令和6年5月14日(火)	宮城県	集合開催
令和6年度施設長・管理者等連絡協議会及び定期総会	令和6年6月13日(木)～14日(金)	秋田県	集合開催
第1回東北フォーラム実行委員会・第2回研修委員会	令和6年7月9日(火)	岩手県	集合開催
第3回研修委員会	令和6年7月19日(金)	—	オンライン開催
第2回東北フォーラム実行委員会	令和6年8月5日(月)	岩手県	集合開催
第4回研修委員会	令和6年9月4日(水)	—	オンライン開催
第3回東北フォーラム実行委員会	令和6年9月6日(金)	岩手県	集合開催
令和6年度東北地区専門研修会	令和6年9月12日(木)～13日(金)	福島県	集合開催
第4回東北フォーラム実行委員会	令和6年11月6日(水)	—	オンライン開催

東北フォーラム 2024inいわて	令和6年11月19日（火）～20日（水）	岩手県	集合開催
令和6年度第2回理事会及び事務局会	令和7年1月7日（火）	岩手県	集合開催
第5回東北フォーラム実行委員会	令和7年1月24日（金）	宮城県	集合開催

（3）福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定と地域移行に係る研修会	令和6年4月17日（水）	—	オンライン開催
第1回理事会	令和6年4月19日（金）	西郷村	集合開催
令和6年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年4月26日（金）	郡山市	集合開催
第1回正副会長会議	令和6年5月15日（水）	西郷村	集合開催
令和6年度第1回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）実行委員会	令和6年7月22日（月）	西郷村	集合開催
臨時理事会	同上	同上	同上
第60回全国福祉関係職員研究大会（福井）視察	令和6年10月3日（木）～4日（金）	福井県	集合開催
第2回正副会長会議	令和6年10月10日（木）	西郷村	集合開催
第11回作文コンクール福島県入賞作品選定	同上	同上	同上
第3回正副会長会議	令和6年11月27日（水）	—	オンライン開催
令和6年度第2回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）実行委員会	令和6年11月29日（金）	—	オンライン開催
第2回理事会	令和6年12月4日（水）	西郷村	集合開催
第4回正副会長会議	令和7年1月29日（水）	西郷村	集合開催
第2回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年12月11日（水）	郡山市	集合開催
令和6年度合同研修会実行委員会	令和7年2月【中止】	—	—
令和6年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和7年2月【中止】	—	—
令和6年度第3回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）実行委員会	令和7年3月25日（火）	—	オンライン開催

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会事業活動報告

令和7年3月31日現在

- 1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。

・協会組織と外部団体

令和6年度においては新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したこともあり、第1回理事会および総会においては集合型による開催となった。

また、福島県知的障害児者生活サポート協会についても同様に理事会及び代議員総会を集合で開催となった。

東北地区知的障害者福祉協会の理事会及び合同委員会でも集合による会議が実施され、関係者の皆様がそれぞれに参加することが出来ていた。

その他、外部団体との連携として、「公益財団法人 福島県障がい者スポーツ協会」、「福島県障がい者社会参加推進協議会」の役員も福島県知的障害者福祉協会として会長が受けている。

1. 福島県知的障害者福祉協会	会長	江尻勝巳
同	副会長	岡崎立郎
同	同	鈴木繁生
同	事務局長	和知俊之
同	事務局員	田中春光
同	同	増井義仁
同	同	矢部美咲
2. 福島県知的障害児者生活サポート協会	理事長	岡崎立郎
同	副理事長	鈴木繁生
同	同	江尻勝巳
3. 東北地区知的障害者福祉協会	常任理事（副会長）	江尻勝巳
同	理事（児童発達支援部会）	佐藤元彦
同	人権倫理委員会委員	細井昌樹
同	政策委員会委員長	古川彰彦
同	政策委員会委員	渡部和哉
同	研修委員会委員	品川寿仁

- 2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。
 - ・政策提言等への取り組み

「令和7年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員パブリックコメントを実施し、新規要望事項3件を福島県社会福祉協議会を通して福島県保健福祉部へ提出した。（要望事項及び県回答は別紙参照）

東北地区知的障害者福祉協会理事会において、報酬改定について協議し意見集約をし、日本知的障害者福祉協会へ提言を行った。
- 3 全国の都道府県協会の先駆的な取り組みとして、加盟全事業所に「人権擁護委員会」が設置され、人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう協力する。
 - ・人権擁護と意思決定支援の取り組み

令和4年度から、全サービス対象に「虐待防止委員会の設置等」「従業者への研修の実施」「虐待防止等の為の責任者の設置」が義務化された。

福島県では人権倫理委員会で作成している「虐待防止自己チェック表」「人権擁護委員会設置に関するアンケート」などによりいち早い取り組みがされている。
- 4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。
 - ・研修の取り組み

各部会及び委員会においては、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、集合型の研修を行っている部会もあり、また、zoomなどを利用したweb会議や研修など、各部会・委員会で工夫して活動していただいた。

合同研修会については早くにお伝えした通り、来年度の全国知的障害福祉関係職員研究大会へ注力するため、中止とさせていただいた。
- 5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。
 - ・福島県が実施する「障がい児者福祉施設等への応援職員派遣支援事業」への連携協力

福島県社会福祉協議会 障がい児者福祉施設協議会が主となる体制で、障がい児者施設等でクラスターが発生した場合の応援職員派遣事業へ県協会として連携協力体制を整えた。
 - ・【障害福祉サービス事業所等危機対応支援強化事業】

「相互支援ネットワーク検討会」

福島県社会福祉協議会が県からの委託を受け、福島県内の障害福祉サービス事業所の災害時をはじめとした事業を開始。災害発生時に相互に支援できるよう、「相互支援ネットワーク検討会」を県内の障がい児者福祉施設協議会・知的障害者福祉協会・身体障害者施設協議会の3団体が連携して活動することとなった。

福島県知的障害者福祉協会からは会長・副会長の3名が参画。

第1回 8月28日（金） 第2回 11月6日（水）

第3回 1月17日(金) 第4回 3月11日(火)

現在までの進捗

1. 相互支援ネットワーク検討のための情報・事例収集・BCP アンケート
 2. BCP 運用及び相互支援ネットワーク検討に関する研修会(令和7年3月4日)
 3. ネットワーク構築のための意見交換・課題整理・運用に向けた体制整備等
- 6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。
福島県障がい者施策推進協議会条例に基づき、福島県障がい者施策推進協議会の委員として岡崎立郎副会長が参画して、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」及び「福島県手話言語条例」に基づく取り組み状況、「第5次福島県障がい者計画」の実施状況について精査検討しました。
- 7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力を行う。
・第11回全国障がい福祉ふれあい作文コンクールの取り組み
従来の福島県教育庁からの周知協力に加えて、会員施設・事業所へも近隣の小・中学校への案内周知を依頼した、今回は22作品の応募と少なかったが、10月10日に正副会長と事務局にて選定会議を開催し日本知的障害者福祉協会へ提出する作品の選定作業を実施した。
- 8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。
・広報の取り組み
協会ホームページにより、会員施設及び協会の広報活動を実施。
今年度は年度当初より会員数が6増え2減り115施設・事業所として活動している。
- 9 相談支援部会の発足を円滑に進める。
会員事業所に対し併設等の相談支援事業所の加入促進の取り組みを行った。相談支援事業所加盟は福島県協会の会費徴収なしで組織化する計画であるが、2事業所のみ加盟状況に変わりなく、会員に対して更なる加盟協力を仰ぎたい。
- 10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催に向け、実行委員会を組織し準備を進める。
・実行委員会の開催および視察研修
来年11月に開催が予定されている上記大会について、開催準備に伴い第2回実行委員会を7月22日に開催した。10月3日～4日に本年度開催県の福井県へ視察研修を行い、開催に係る方法や資料などの共有をした。3日には日本知的障害者福祉協会役員及び事務局と進捗状況について話し合いを持ち、いくつかの変更指示を受け、現在、基調講演や分科会の内容検討を行っている。

- 11 新型コロナウイルスが第5類に分類された後も、感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。
- 12 その他
令和5年度において、利用者への権利侵害（虐待）が2件発生している。
協会として聞き取り調査を行い、日本知的障害者福祉協会へ報告を行った。
発生事業所に関しての対応は日本知的障害者福祉協会からの回答待ちとなる。

令和6年度 収支計算書（一般会計）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
会費収入	6,656,700	6,390,000	266,700	
日本知的障害者福祉協会会費	3,718,800	3,580,000	138,800	117施設・事業所
東北地区知的障害者福祉協会会費	567,050	540,000	27,050	117施設・事業所
福島県知的障害者福祉協会会費	2,370,850	2,270,000	100,850	117施設・事業所
委託費収入	2,000,000	2,000,000	0	サポート協会
助成金収入	1,566,794	1,490,000	76,794	
日本知的障害者福祉協会助成金	116,794	90,000	26,794	
研究助成金	1,450,000	1,400,000	50,000	サポート協会・東北地区知的障害者福祉協会（専門研修会） 郡山コンベンション開催助成金（専門研修会）
雑収入	2,091,713	2,000,000	91,713	
雑収入	2,084,588	2,000,000	84,588	東北地区専門研修会参加費 AIG損保集金事務費
預金利息収入	7,125	0	7,125	
前期繰越金	12,881,394	12,881,394	0	
【収入合計】	25,196,601	24,761,394	435,207	

【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
事務費支出	2,872,739	3,180,000	△ 307,261	
事務委託費	2,750,000	2,750,000	0	会長所属法人 75万円 事務局所属法人200万円
消耗品費	76,788	300,000	△ 223,212	
通信運搬費	45,951	100,000	△ 54,049	
雑費	0	30,000	△ 30,000	
事業費支出	5,886,258	4,480,000	1,406,258	
会議費	1,531,231	550,000	981,231	東北地区専門研修会 総会、施設長会議、web会議ライセンス料
旅費	3,073,345	2,600,000	473,345	東北地区専門研修会、理事会、総会、施設長会議、 全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井大会）視察
研究調査費	1,270,000	1,270,000	0	部会・委員会活動費
広報費	11,682	30,000	△ 18,318	ホームページ利用料
慶弔費	0	30,000	△ 30,000	
会計単位間繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	
合同研修会会計繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	合同研修会中止
会費支出	4,285,850	4,120,000	165,850	
日本知的障害者福祉協会会費	3,718,800	3,580,000	138,800	
東北地区知的障害者福祉協会会費	567,050	540,000	27,050	
予備費（次期繰越金）	12,151,754	12,881,394	△ 729,640	
【支出合計】	25,196,601	24,761,394	435,207	

財 産 目 録

令和7年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(一般会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 平西支店884152)	12,151,754
小口現金	0
流動資産合計	12,151,754
資産合計	12,151,754
II 負債の部	
1 流動負債	
流動負債合計	0
負債合計	0
差引純資産	12,151,754

令和6年度 収支計算書（義援金会計）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
義援金収入	0	0	0	
雑収入	166	0	166	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	166	0	166	
前期繰越金	303,920	303,920	0	
【収入合計】	304,086	303,920	166	

【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
一般会計繰入金支出	0	0	0	
事務費支出	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
義援金支出	0	0	0	
予備費(次期繰越金)	304,086	303,920	166	
【支出合計】	304,086	303,920	166	

財 産 目 録

令和7年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(義援金会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 会津アピオ支店84018)	304,086
流動資産合計	304,086
資産合計	304,086
II 負債の部	
1 流動負債	0
流動負債合計	0
負債合計	0
差引純資産	304,086

令和6年度 収支計算書（合同研修会会計）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
参加費収入	0	3,757,000	△ 3,757,000	
参加費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
宿泊費（懇親会含）	0	2,660,000	△ 2,660,000	
懇親会費	0	97,000	△ 97,000	
福島県サポート協会助成金	0	500,000	△ 500,000	
会計単位間繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
一般会計繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
雑収入	1,386	0	1,386	
預金利息収入	1,386	0	1,386	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	2,542,279	2,542,279	0	
【収入合計】	2,543,665	6,899,279	△ 4,355,614	

【支出の部】

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	差異 (A-B)	備考
事務費・事業費	0	4,157,000	△ 4,157,000	
会場経費	0	2,757,000	△ 2,757,000	
講師等謝礼	0	300,000	△ 300,000	
印刷製本費	0	300,000	△ 300,000	
旅費	0	200,000	△ 200,000	
事務局経費	0	600,000	△ 600,000	
予備費（次期繰越金）	2,543,665	2,742,279	△ 198,614	
【支出合計】	2,543,665	6,899,279	△ 4,355,614	

財 産 目 録

令和7年3月31日

福島県知的障害者福祉協会(合同研修会会計)

(単位:円)

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金(東邦銀行 平西支店884136)	2,543,665
流動資産合計	2,543,665
資産合計	2,543,665
II 負債の部	
1 流動負債	0
流動負債合計	0
負債合計	0
差引純資産	2,543,665

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援 活動報告

児童発達支援部会
部会長 佐藤元彦

研修会を実施した。

1 令和6年11月16日(土)

開催場所; 玉川村たまかわ体育館

参加者数; 18名

内容; 1 「癒しの瞬間」ということで塩澤輝さんのキーボード演奏を聴く
2 講演「児童発達センターの役割と機能」
講師 たむら地方児童発達支援センター 所長 持館純子氏

2 令和7年2月7日(土)

開催場所; 産業サポート白河

参加者数; 50名

内容; 1 講演「今、求められる5領域」
～「療育」から「発達支援」へ～
講師 NPO法人銀河 理事長 菊池健弥氏

アンケート調査を実施した。

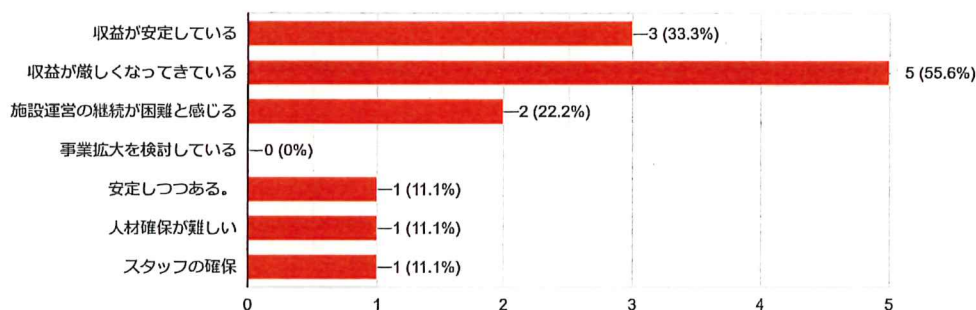
1 2/21～3/15 googleフォームを利用し東北地区他県と協力しアンケートを実施した。

目的;本年度の報酬改定を受けての現状での課題の洗い出し

21事業所のうち9事業所の回答を得る。(回収率 42.8%)

(下記は、当県のまとめ)

【1. 施設の運営状況】 1-1. 現在の運営状況について (複数選択可)
9件の回答

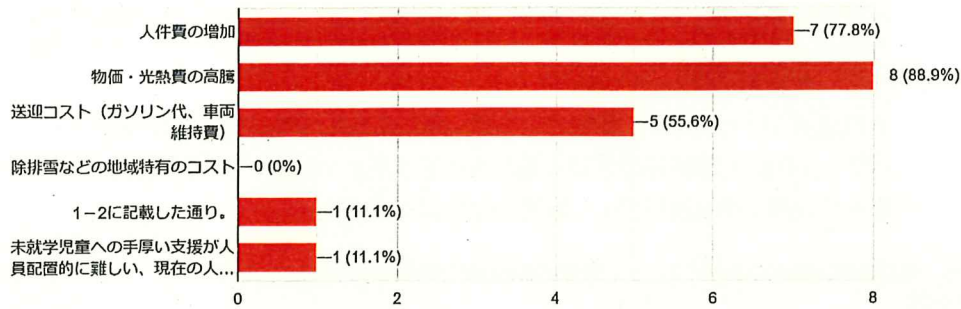


1-2. 報酬改定の影響について(自由記述) ※収益の増減の要因や加算の新設・改定の影響についても記述してください。

- ・ 児童指導員等加配加算の経験年数が5年以上、未満で単価が異なる点は収支に影響する。
- ・ 個別サポート加算Ⅰについて、未就学児における手帳の所持率が極めて低く、手帳の所持で判別されると要該当と思われる児童でも算定が出来ない。家族支援、子育てサポート加算についても内容としては実施しているが、実際に算定してよいものか悩むため、算定を行なったことはない。
- ・ 世の中的に福祉型障害児入所施設の需要が右肩下がりとなっており、入所児童の安定した確保の困難が収益の大幅なマイナスに繋がっている。
- ・ 収益が増えているから。事務処理が増えた。
- ・ 加算は増えているが業務も増えているので実際には増収にはなっていない
- ・ 加算に応じたスタッフの確保及び記録時間の確保

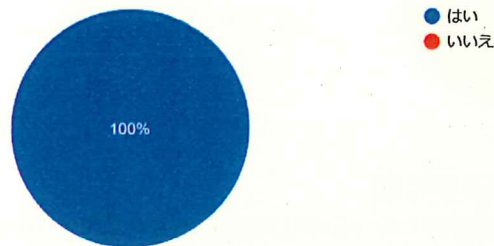
1-3. 施設の財政状況で特に課題となっていること（複数選択可）

9件の回答



【2. 人材確保と育成の状況】 2-1. 職員の配置基準を満たしていますか？

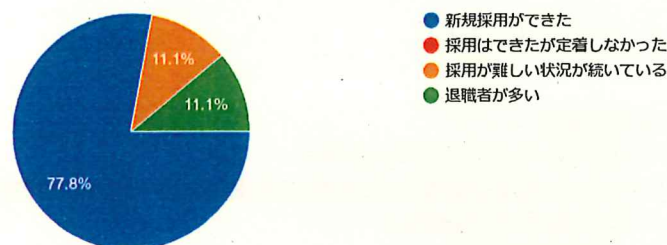
9件の回答



- ・ 児童指導員の確保が難しく、2年勤務を見据えることで安定するまでに加算が取れず、収入の見込みが厳しい状況

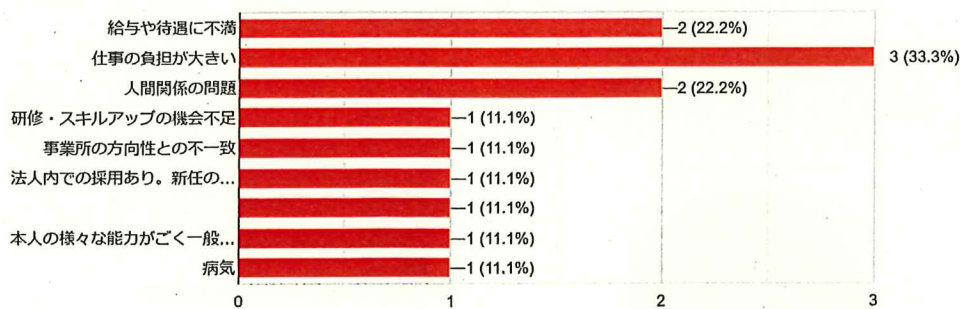
2-2. 採用状況（直近1年間）について

9件の回答



2-3. 離職の理由（該当するものを選択）

9件の回答



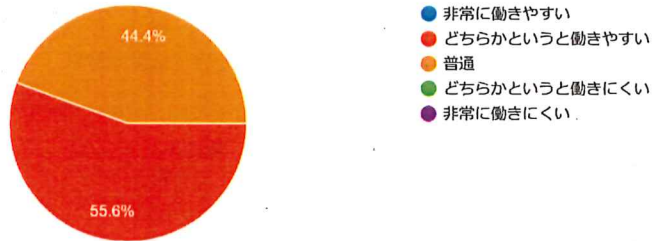
2-4. 人材育成に関する課題（自由記述）

- ・ 定着しない。考え方の相違が大きく指導する側の学びが必要。
- ・ 研修の内容の情報共有と実践。研修で終わらないようにする。利用者さんに対する気付き、思いやり。

- ・収益ベースでみると経済的に成り立つ雇用形態が保つことができないため、採用や定着に結びつかず育成に至っていない。
- ・人材確保が極めて厳しい福祉業界においては、能力不足が明らかに認められる人材についても採用せざる得ない状況であり、はじめから育成のハードルが極めて高いようなことがざらにある。
- ・正規職員が少ないため、長期的な見通しをもった人材育成につながらない。
- ・パワハラや個人情報等の言葉に惑わされ基本的に大切なことが置き去りになっている。
- ・個々の仕事の負担が大きい、専門的な支援の必要性

【3. 職場環境と働きやすさ】 3-1. 職員が働きやすい職場環境を整えていますか？

9件の回答

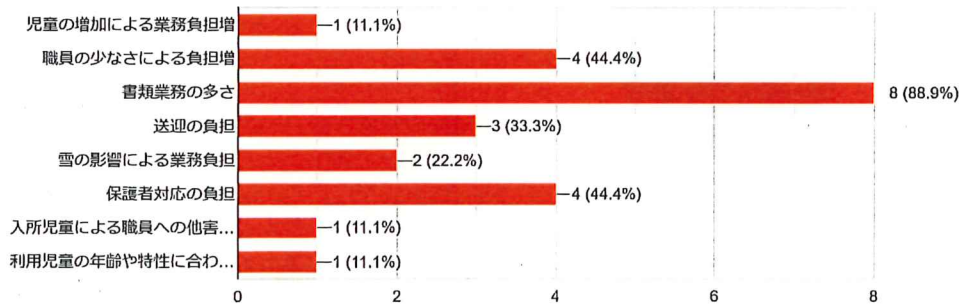


3-2. 仕事のやりがいについて(自由記述)

- ・子ども達の成長。保護者様とのつながりで仕事の意義が感じられた時。
- ・資格を生かし、仕事ができている。
- ・やりがいはある仕事とは、わかりつつも生活が成り立つとはまた違ってしまう。
- ・こどもが可愛い。
- ・子どもの成長がやりがいにつながっている。
- ・児童はタイムリーな支援が必須であるためそれを大変と感ずるかやりがいと感ずるか。
- ・利用児童の成長を保護者と一緒に感じることができる

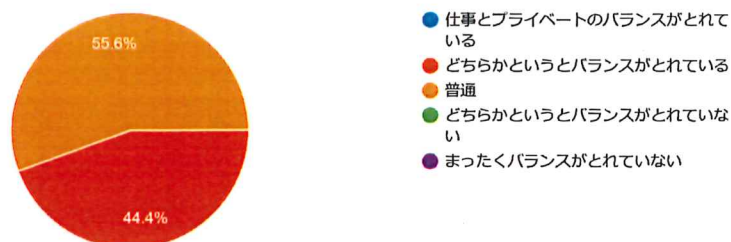
3-3. 現場の負担について (複数選択可)

9件の回答



3-4. ワークライフバランスについて

9件の回答

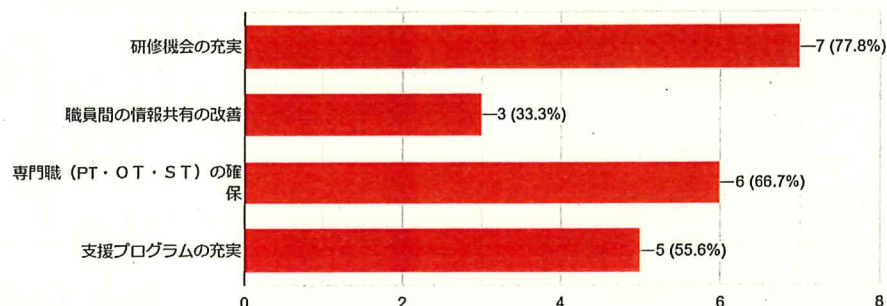


3-5. 仕事の悩み・ストレスについて(自由記述)

- ・ 運営と人材の確保にとらわれすぎているように感じる。
- ・ 3-3の答えがそのまま仕事の悩み・ストレスとなっている。
- ・ 一部の職員に負担が偏っていることによるストレスが生じている。
- ・ 歴史のある法人ならではのトップダウンは時代に逆行していると感じている。

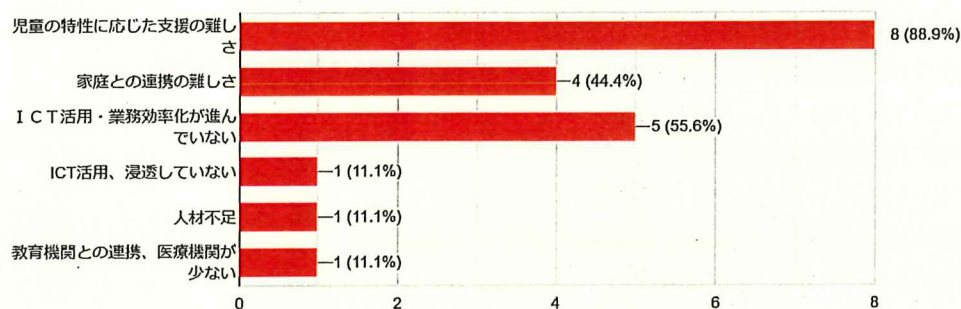
【4. 支援の現状と課題】 4-1. 支援の質の向上のために必要なもの(複数選択可)

9件の回答



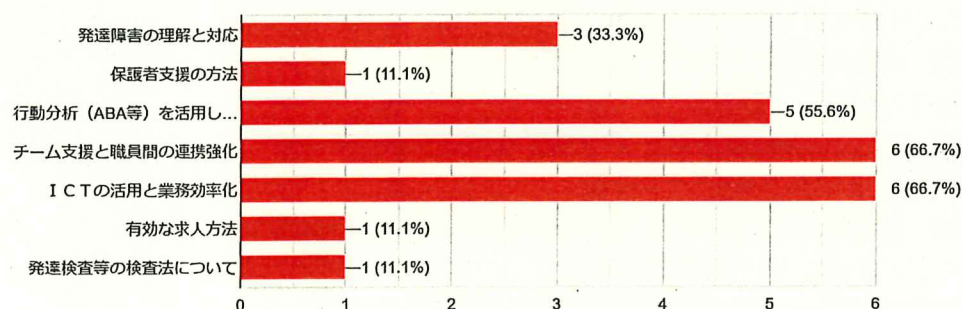
4-2. 支援をする上で特に課題と感じる点(複数選択可)

9件の回答



【5. 今後の研修・支援ニーズ】 5-1. 部会で開催してほしい研修内容(複数選択可)

9件の回答



【6. その他、意見・要望】 6-1. 現在、支援や運営の中で感じている最も大きな課題を教えてください。(自由記述)

- ・ 未就学児は、体調不良によるキャンセルや、幼保と併行利用児も多く、園行事等でのキャンセルも多いため、利用キャンセル時における報酬単価も最低限保証される額を要望致します。欠席時対応加算の内容と額の見直しも必要ではないかと感じています。
- ・ 世の中的に福祉型障害児入所施設の需要が右肩下がりとなっており、入所児童の安定した確保の困難が収益の大幅なマイナスに繋がっている。
- ・ 収入の減少、日課の充実化を求める支援プログラムの工夫、新人教育
- ・ 職員の人員不足
- ・ 職員体制と個別支援
- ・ スタッフ人数と人件費の関係

6-2. 児童発達支援の未来のために、必要だと考えることを教えてください。(自由記述)

- ・ 関係機関と連携を取り情報を共有し、支援を行っていく。切れ目のない支援を行っていく。
- ・ 働きたいと思える職場環境の構築＝支援の充実
- ・ 児童発達支援の未来のためにも職員の確保ができなければ何も始まらない。世の中全般的に人手不足の中、労働に見合わない低賃金の福祉業界に人材を確保する為にも、職員の大幅な処遇改善が必要だと考える。
- ・ 支援の質の向上とそれに見合った報酬
- ・ 子どもの支援は時代と共に充実しつつあるが施設入所の障がい児は置いていかれている。子どもの世界の格差社会を感じています。
- ・ 療育事業所が有益であることのアプローチと必要性の証明

下記会合参加

- 1 令和6年5月1日(水) オンライン会議
令和6年度 東北地区知的福祉協会 常任理事会・部会代表者等会議
- 2 令和6年5月29日(水) 東京;浜松町
日本知的福祉協会第1回児童発達支援部会
- 3 令和6年6月13日(木)14日(金) 秋田市
東北地区知的福祉協会定期総会・施設長連絡会
- 4 令和5年7月22日(月) 福島県;太陽の国
令和6年度 福島県知的障害者福祉協会臨時理事会
令和7年度第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)に係る実行委員会
- 5 令和6年8月7日(水) オンライン会議
日本知的福祉協会第2回児童発達支援部会
- 6 令和6年10月3日(木)4日(金) 福井市
令和6年第60回全国知的障害福祉関係職員研究大会福井大会
- 7 令和6年10月23日(水) 東京;浜松町
日本知的福祉協会第3回児童発達支援部会
子ども家庭庁意見交換会
- 8 令和6年11月25日(月)26日(火)福岡市
令和6年度 第21回 全国児童発達支援施設運営協議会(福岡大会)
- 9 令和6年12月4日(水) 福島県;太陽の国
令和6年度 福島県知的障害者福祉協会理事会
- 10 令和7年1月7日(火) 盛岡市
令和6年度 東北地区知的福祉協会 常任理事会・部会代表者等会議
- 11 令和7年2月20日(木) オンライン会議
令和6年度 東北地区知的福祉協会 常任理事会・部会代表者等会議
- 12 令和7年3月6日(木)7日(金)東京;有明
令和6年度部会協議会・全国支援スタッフ委員会代表者会議
- 13 令和7年3月25日(火) オンライン会議
令和7年度第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)に係る実行委員会

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 収支決算報告書(案)

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	19,335	0	19,335	
雑収入	19,335	0	19,335	部会協議会旅費
前期繰越金	0	0	0	
合 計	119,335	100,000	19,335	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	2,178	10,000	△ 7,822	
通信費	0	5,000	△ 5,000	
消耗品費	2,178	5,000	△ 2,822	コピー用紙代
事業費	117,157	90,000	27,157	
会議費	88,000	20,000	68,000	講師料、旅費交通費
旅費	19,340	0	19,340	部会協議会旅費
雑費	9,817	70,000	△ 60,183	コピー代、お茶代等
助成金戻入	0	0	0	
合 計	119,335	100,000	19,335	

令和 6 年度 障害者支援施設部会活動報告

障害者支援施設部会

部会長 佐川 滋

1. 県の部会活動報告

(1) アンケート調査

①「施設における IT・ICT・ロボット等の導入」について

②「施設の運営状況」について

・実施期間：令和 6 年 8 月 26 日～9 月 20 日

・実施方法：メール一斉送信、郵送による依頼

・回答方法：メール

・回答率：92.9%（28 施設中 27 施設が回答）

(2) アンケート集計報告

・報告日：令和 6 年 10 月 22 日

・報告手段：メール一斉送信

(3) 令和 7 年度 第 61 回 全国知的障害福祉関係職員研究大会に係る分科会講師の選定及び講師へのお礼を兼ねたご挨拶。

・10/18 柚原副部会長と東京の NEC 本社へ。

(4) 第 60 回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井大会）の参加

・10/3、4 来年度の福島大会の視察に協会の役員・事務局と福井市に視察に行ってきました。

(5) 日本知的障害者福祉協会主催の「全国部会代表者会議」に参加

・3 月初旬に開催された日本知的障害者福祉協会主催の「全国部会代表者会議」に出席させて頂き部会に関係する資料を会員施設にメール送信した。

2. 東北地区部会活動報告

(1) 東北地区知的障害者福祉協会 第 1 回部会代表者会議が 5/1 に開催され (Zoom)、①令和 6・7 年度部会長・副会長選任について、②各部会の現状と課題、在り方等について、③その他情報交換を行った。

(2) 「令和 6 年度 東北地区知的障害者福祉協会 定期総会・施設長等連絡会・部会協議会が令和 6 年 6 月 13 日（木）～14 日（金） 秋田県の「秋田キャッスルホテル」で開催された。

- (3) 東北地区の代表者会議（オンライン）2／14開催。「次年度の東北地区 障害者支援施設部会の内容（オンライン会議の実施、職種別の研修会の実施）」と「各地区の問題共有」について協議。

3. 全国部会活動報告

- (1) 第12回障害者支援施設部会全国大会 広島大会が12月19（木）、20（金）、広島県広島国際会議場で開催された。784名が参加。2024年度報酬改定の影響により、多くの方に参加して戴けた。
- (2) 第13回障害者支援施設部会全国大会 愛知大会が12月17（水）、18（木）開催されます。テーマは「障害者支援施設の無限の可能性～地域の中で活かす私たちの専門性～」。

総括

(1) 部会活動

- アンケート調査については予定通り実施でき、集計結果を部会会員に報告できた。
- 中間報告以降は来年度開催の全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）の打ち合わせを実施したかったが、当施設の2回に渡るクラスター発生により開催できなかった。
- 3月初旬に開催された日本知的障害者福祉協会主催の「全国部会代表者会議」に出席させて頂き部会に関する資料を会員施設にメール送信した。

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会 収支決算報告書

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	19,373	0	19,373	
雑収入	19,340	0	19,340	全国部会協議会・地方部会旅費・日当
	33	0	33	利息
前期繰越金	0	0	0	
合 計	119,373	100,000	19,373	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	2,818	40,000	△ 37,182	
部会運営費	0	20,000	△ 20,000	
通信費	2,818	10,000	△ 7,182	郵送代・振込手数料
消耗品	0	10,000	△ 10,000	
事業費	55,390	50,000	5,390	
研修費	0	40,000	△ 40,000	
旅費	19,340	0	19,340	全国部会協議会・地方部会旅費・日当
雑費	36,050	10,000	26,050	講師依頼挨拶旅費、日当
予備費	0	10,000	△ 10,000	
助成金戻入	61,165	0	61,165	
合 計	119,373	100,000	19,373	

令和 6 年度 日中活動支援部会事業報告

部会長 小沼貴久

1. 令和 6 年度事業計画に伴う報告

① 職員研修

令和 6 年 9 月 6 日 (金) 13:15～15:15

オンラインセミナー

テーマ：講演 テーマ：障がい者支援とテクノロジー

講師：学校法人 梅檀学園

東北福祉大学 総合マネジメント学部

情報福祉マネジメント学科

高橋 俊史 氏

参加事業所：22 事業所 (28 事業所中)

参加人数： 35 名

※研修後アンケートを実施し、17 件の回答があった。参加者からとても興味深い内容だったとの意見の反面、支援者側に活用するテクノロジーの話をもっと聞きたかった。又、具体的に障がい福祉の分野に活用されている事例等をもっと聞きたかった等、支援者側からのテクノロジー活用について、より深い研修内容にして頂きたかったと数多くの要望が寄せられた。難しいテーマでの研修会ではあったが、有意義な研修となったかと思われる。

② 視察研修会

開催計画時期にインフルエンザ等の感染症の拡大に伴い、部会長・副会長協議の上中止とする。

2. 日中活動支援部会活動

- ① 令和 6 年 7 月 11・12 日 全国知的障害関係施設長等会議が対面及びオンデマンド配信で開催
- ② 令和 6 年 7 月 22 日 令和 7 年度全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)に係る実行委員会開催
- ③ 令和 6 年 10 月 3・4 日 令和 6 年度第 1 回全国障害者福祉関係職員研究大会(福井大会)が開催
- ④ 令和 7 年 1 月 29 日・30 日 令和 7 年度日中活動支援部会全国大会(埼玉大会)が開催
- ⑤ 令和 7 年 3 月 25 日 令和 7 年度全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)に係る実行委員会開催(ZOOM)

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 収支決算報告書

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	38	0	38	
雑収入	38	0	38	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,038	100,000	38	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	20,880	50,000	△ 29,120	
消耗品費	0	25,000	△ 25,000	
渉外費	20,000	20,000	0	講師謝礼
雑費	880	5,000	△ 4,120	振込手数料(880円)
事業費	0	45,000	△ 45,000	
会議費	0	30,000	△ 30,000	
賃借料	0	10,000	△ 10,000	
雑費	0	5,000	△ 5,000	
予備費	0	5,000	△ 5,000	
残額本部戻入金	79,158	0	79,158	
次年度繰越金	0	0	0	
合 計	100,038	100,000	38	

令和 6 年度 地域支援部会 事業報告

部会長 荒 里美

1. 部会活動

① 福島県

日にち	場 所	内容等
令和 6 年 8 月 27 日(火)	オンライン	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)分科会について
令和 6 年 10 月 3 日(木)～ 令和 6 年 10 月 4 日(金)	福井県	第60 回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福井)の視察
令和 6 年 12 月 24 日(火)	オンライン	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)分科会について
令和 7 年 1 月 9 日(木)	オンライン	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)分科会について講師との打ち合わせ
令和 7 年 2 月 28 日(金)	中央台公民館 (いわき市)	テーマ: 尊厳 講師: 佐藤 信人 氏 (武蔵野大学 教授)
令和 7 年 3 月 6 日(木)～ 令和 7 年 3 月 7 日(金)	TOC 有明コンベンションホール (東京都)	行政説明(厚生労働省/こども家庭庁) ディスカッション: 居住支援の在り方について 行政説明および意見交換(厚生労働省)
令和 7 年 3 月 15 日(土)	中央台公民館 (いわき市)	テーマ: 津久井やまゆり園 意思決定支援と尊厳 講師: 高山 直樹 氏 (東洋大学 教授)

② 東北地区

日にち	場 所	内容等
令和 6 年 5 月 1 日(水)	オンライン	東北地区知的障害者福祉協会 部会代表者会議
令和 6 年 11 月 25 日(月)	オンライン	令和 7 年度全国グループホーム等研修会(開催県:山形県) について

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 地域支援部会収支決算報告書

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	19,044	0	19,044	
雑収入	19,044	0	19,044	部会協議会旅費、日当
前期繰越金	0	0	0	
合 計	119,044	100,000	19,044	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	69,440	95,000	△ 25,560	
会議・研修費	50,000	50,000	0	講師謝礼
雑費	440	10,000	△ 9,560	
賃貸業	0	5,000	△ 5,000	
旅費	19,000	30,000	△ 11,000	部会協議会旅費、日当
事務費	0	5,000	△ 5,000	
消耗品	0	5,000	△ 5,000	
予備費	0	0	0	
助成金戻入	49,604	0	49,604	
合 計	119,044	100,000	19,044	

令和6年度 生産活動・就労支援部会活動報告

生産活動・就労支援部会

1. 事業計画に対する進捗等

① 全国知的障害関係施設長等会議

期日：令和6年7月11日（木）、12日（金）

場所：東京都（東京フォーラム）

② 全国知的障害福祉関係職員研究大会

期日：令和6年10月3日（木）、4日（金）

場所：福井市

・当部会長を含む県協会役員等で視察することとなったことから、視察結果を部会員に報告し、情報共有をはかった。

③ 東北地区施設長等会議

期日：令和6年6月13日（木）、14日（金）

場所：秋田県

④ 全国生産活動・就労支援部会職員研修会

期日：令和6年12月2日（月）、3日（火）

場所：東京都（東京グリーンパレス）

・当部会長施設職員が出席し、研修内容について部会員に報告し情報共有をはかった。

2. その他

① 部会オンライン会議

期日：令和6年5月10日

内容：役員選出

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会 収支決算報告書

○収入の部 令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
部会助成金	100,000	100,000	0	協会助成金
雑収入	44	0	44	
預金利息収入	44	0	44	預金利子
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,044	100,000	44	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	0	90,000	△ 90,000	
会議・研修費	0	90,000	△ 90,000	
事務費	550	10,000	△ 9,450	
雑費	0	9,560	△ 9,560	
振込手数料	550	440	110	協会戻入振込手数料
助成金戻入	99,494	0	99,494	
合 計	100,044	100,000	44	

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会 年間活動報告

【会議内容】

事業名	開催年月	内容	開催場所
第1回 役員会議	5月14日	・令和5年度 事業報告及び収支決算報告 ・令和6年度 事業計画(案)・予算(案)確認 ・令和6年度 スタッフ部会総会について	障がい者支援施設 あさかあすなろ荘
令和6年度 支援スタッフ部会総会	5月23日	・令和5年度 活動報告及び収支決算報告 ・令和6年度 活動計画・予算確認 ・スタッフ部会名簿作成 ・令和6年度 部員顔合わせ	郡山総合福祉センター 5階 集会室
第2回 役員会議	7月16日	・スタッフ部会規則について ・東北フォーラムについて ・各地区の活動報告(毎回実施のため以下省略)	zoom 開催
第3回 役員会議	8月20日	・東北フォーラムについて ・令和7年度「全国知的障害福祉関係職員研究大会」について(情報共有)	zoom 開催
第4回 役員会議	9月17日	・東北フォーラムについて ・行動支援計画スキル学習会について	zoom 開催
令和6年度 東北フォーラム動画制作	9月27日	・東北フォーラム動画制作	鮫川福祉会 鮫川たんぽぽの家
第5回 役員会議	10月15日	・東北フォーラムについて ・行動支援計画スキル学習会について	zoom 開催
第6回 役員会議	11月12日	・東北フォーラムについて(最終確認) ・行動支援計画スキル学習会について ・役員改選について(次期役員との顔合わせ、引継ぎ)	zoom 開催
東北フォーラム 2024in いわて	11月19日 ～11月20日	・東北フォーラム全体会／分科会 ・研修、懇親会	岩手県盛岡市
第7回 役員会議	12月10日	・行動支援スキル学習会について ・虐待防止研修会について(情報共有)共有 ・令和7年度「全国知的障害福祉関係職員研究大会」について(情報共有)	zoom 開催
第8回 役員会議	1月14日	・行動支援スキル学習会について(最終確認) ・役員改選について	zoom 開催
行動支援スキル学習会 第9回 役員会議	1月21日	・行動支援スキル学習会の運営 ・令和6年度 事業報告及び収支決算報告について ・令和7年度 事業計画(案)・予算(案)について	福島県社会福祉事業団 福島県矢吹しらうめ荘
第10回 役員会議	3月4日	・役員改選に伴う引継ぎ(現役員・新役員ともに招集) ・令和7年度 スタッフ部会総会について	福島県社会福祉事業団 福島県矢吹しらうめ荘

【総括】

○支援スタッフ部会総会

- ・5月23日(木)、対面形式で実施。38事業所39名(委任25名)が参加し、審議内容については賛成多数にて可決となった。総会后、地区毎に分かれて顔合わせを行い、地区の年間予定の確認を行った。

○東北フォーラムについて

- ・今年度の動画テーマは「福島一受けたい授業」。加盟施設の職員の「悩み」「相談」をアンケートで募り、その中から厳選した内容をベテラン職員に問いかけ、悩みを解消するための手がかりになればと思い作成に取りかかった。動画には協会会長の江尻勝巳様にもご協力を頂いた。

○行動支援計画スキル学習会について

- ・例年、本研修は2月中旬～下旬ごろに集合形式で実施していたが、人権倫理委員共催の研修が2月に予定されていたり、年度末にさしかかり忙しくなることや冬期にて移動困難になる恐れがあることを想定した上で、日程調整や実施方法の検討をしてきた。
- ・約50名(昨年とはほぼ一緒)の方が受講し、グループワークを通して活発な意見交換を行う様子が見られた。
- ・講師は昨年同様「つばさ福祉会 おおぞらの夢 松原篤史様」に依頼した。

○虐待防止責任者・管理者等研修会について

- ・人権倫理委員会が主となり、情報共有を行いながら準備を進めた。

○各地区の活動について

- ・地区ごとに会議・勉強会・施設見学を行い意見交換をしながら交流を深めた。また、横の繋がりを広げる目的として複数地区での合同施設見学(県中・県南／県中・郡山)も実施した。
- ・連絡ツール(LINE)を活用し、意見交換や情報共有を行った。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、各地区の連絡員(役員)判断で活動の計画・実施をした。

○その他

- ・役員分のUSBメモリーを購入した。
- ・スタッフ部会マニュアルを策定した。
- ・いわき相双地区の再編成(いわき相双の面積が広く集まる際の移動距離が長いことや加盟施設が多いことを考慮し、次年度よりいわき地区と相双地区に区切る予定)。また、輪番表の見直しを行った。
- ・令和7年度は役員改選次期のため、11月と3月に現役員と次期役員の顔合わせを実施し、今後の予定や引継ぎを行った。
- ・案内文の発送や会議の準備等、事務局の協力を得ながら円滑に進めることが出来た。
- ・昨年同様、感染症対策のため思うような活動ができなかった地区もあるが、zoomを利用し活発な意見交換を行ったり、施設見学を実施し以前の様な活動を再開することができた。また、スタッフ部会独自の規則作成や地区構成の見直しなど、土台の再構築に努めてきた。

【各地区の活動報告】

○県北地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:17 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力 ・感染症対策のため対面活動は自粛し、地区間で連絡ツールを活用し意見交換を行った。

○県中地区／施設・事業所数 6 箇所、委員数:6 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7 月 17 日	・会議、意見交換(参加:6 名／zoom 開催)
・11 月 14 日	・県中、県南合同施設見学(参加:2 名／場所:福島県けやき荘)
・1 月 28 日	・県中、郡山地区合同研修会「ボッチャ・室内レクリエーション講習会」
・3 月 12 日	・第2回会議(障がい福祉サービス事業カノン)

○県南地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:19 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7 月 22 日	・会議、意見交換(参加:5 名／zoom 開催)
・9 月 25 日	・会議、意見交換(参加:5 名／zoom 開催)
・11 月 14 日	・県中、県南合同施設見学(参加:9 名／場所:福島県けやき荘)

○会津地区／施設・事業所数:5 箇所、委員数:5 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・8 月 28 日	・会議、意見交換(参加:5 名／zoom 開催)
・10 月 17 日	・施設見学(参加:5 名／場所:あかまつ荘、下郷作業所ホイップ)

○郡山地区／施設・事業所数:14 箇所、委員数:14 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7 月 23 日	・学習会「意思決定支援会議の実践演習」(参加:5 名／場所:あさかあすなろ荘)
・9 月 24 日	・施設見学、学習会「ユニバーサルデザイン講座」「おおくま共生園若手職員との懇談」 (参加:6 名／場所:おおくま共生園)
・10 月 31 日	・会議、意見交換(参加:6 名／zoom 開催)
・12 月 24 日	・意見交換会
・1 月 28 日	・郡山、県中合同研修会「ボッチャ・室内レクリエーション講習会」(参加 9 名)

○いわき・相双地区／施設・事業所数:29 箇所、委員数:29 名

日程	活 動 内 容
・7 月～8 月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力 ・感染症対策のため対面活動は自粛し、地区間で連絡ツールを活用し意見交換を行った。

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会 収支決算報告書

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	470,000	470,000	0	
本部助成金	470,000	470,000	0	
雑収入	59	0	59	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	59	0	59	利息
前期繰越金	0	0	0	
合 計	470,059	470,000	59	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	350,978	230,000	120,978	
会議費	307,120	180,000	127,120	日当、旅費
消耗品費	5,866	25,000	△ 19,134	コピー用紙、印刷代
通信運搬費	1,100	5,000	△ 3,900	現金書留代、封筒代、手数料
雑費	36,892	20,000	16,892	お茶代、昼食代
事業費	68,736	240,000	△ 171,264	
研修費	43,184	60,000	△ 16,816	講師費、会場費
各地区活動費	25,552	180,000	△ 154,448	研究調査費
予備費	0	0	0	
助成金戻入	50,345	0	50,345	
合 計	470,059	470,000	59	

令和6年度 人権・倫理委員会活動報告書

委員長 細井 昌樹

1. 人権倫理委員会 開催

令和6年7月3日 zoom 会議

- ・委員長と副委員長の選任
- ・年間スケジュールの確認
- ・他活動ごとに、メールにて確認し合った。

2. 虐待防止自己チェック表Ver. 6の実施

各事業所での実施 期間 令和6年10月7日から11月5日 まで

提出期限 令和6年11月29日

回答率 58%

パソコン利用69% 紙媒体利用41%(10%はパソコンと紙媒体併用)

Ver.6 以外に権利擁護に係るチェックを行っている事業所63% 行っていない29% 記載なし8%

3. 意思決定支援実例集

- ・令和6年度も実例集の取り組みを一旦停止させて頂きました。

・今までの膨大な実例を読み返し、話し合いの資料として利用いただき、支援の質の向上に役立てていただければ幸いです。今後、会員の皆様からの声を基に復活を検討していきたいと思っております。

4.人権・倫理委員会研修会

日 時 令和7年2月21日

講 義 「本質的な支援を行っていれば虐待は起こらない」

講 師 東洋大学 福祉社会デザイン学部教授 高山直樹 氏

参加者 48名

※集合研修にて、講話と各事業所からの質問事例を基にディスカッションを行った。

アンケート・研修会参加へのご協力ありがとうございました。

今後ともご協力お願いいたします。

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会（人権倫理委員会）収支決算報告書

○収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	300,000	300,000	0	
本部助成金	300,000	300,000	0	
雑収入	133	0	133	
雑収入	133	0	133	預金利子
前期繰越金	0	0	0	
合 計	300,133	300,000	133	

○支出の部

科 目	決算額(A)	予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	33,074	130,000	△ 96,926	
消耗品費	660	40,000	△ 39,340	コピー用紙他
通信運搬費	550	10,000	△ 9,450	振込手数料
旅費	25,450	75,000	△ 49,550	講師交通費
雑費	6,414	5,000	1,414	研修お茶代他
事業費	30,740	120,000	△ 89,260	
会議費	10,740	20,000	△ 9,260	会議会場使用料
研究調査費	20,000	100,000	△ 80,000	講師謝礼
予備費	0	50,000	△ 50,000	
助成金戻入	236,319	0	236,319	
合 計	300,133	300,000	133	

令和6年度 政策委員会 事業報告

政 策 委 員 会
委員長 渡部和哉

1 政策に関する事業報告

- (1) 東北地区知的障害者福祉協会と連携し、日本知的障害者福祉協会へ障害福祉に関する政策提言を継続する。
- (2) 東北地区知的障害者福祉協会政策委員として参画する。
- (3) 「2025年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」については、会員パブリックコメントをもとに要望書を協会に取りまとめ提出しています。
- (4) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ岡崎副会長が参画しています。

令和6年度 研修委員会 事業報告

福島県知的障害者福祉協会

研修委員長 品川寿仁

副委員長 深谷亘弘

1. 研修に関する中間報告

(1) 合同研修会の企画・立案

令和6年7月の臨時理事会にて開催中止となる

(2) 各部会・委員会ごとの研修会

・各部会、委員会の報告のとおり

(3) 東北地区知的障害者福祉協会研修委員として参画する

・令和6年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会

「個別支援計画と意思決定支援」をテーマに前年度を引き継ぐ内容を開催県として実施

日 時 令和6年9月12日(木)～13日(金)

会 場 郡山ビューホテルアネックス

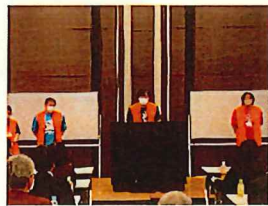
講 師 東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授 竹之内章代 氏

参加者 82名 講師含む運営スタッフ31名 合計113名

・東北フォーラム2024in いわて

日 時 令和6年11月19日(火)～20日(水) 支援スタッフ部会を中心に150名が参加

会 場 岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡／県民情報交流センター



・東北未来塾開講準備

今年度実施については、開催主旨や予算を含め東北協会にて再検討となり保留中

(4) 令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島開催)に向けて

・第60回日本知的障害福祉関係職員研究大会 福井大会に視察同行

令和6年10月3～4日 会場 福井市フェニックスプラザ(別添報告書参照)

(5) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ参画する

・岡崎副会長が参画。

第 60 回 日本知的障害福祉関係職員研究大会 福井大会 視察報告書

大会日時 令和 6 年 10 月 3～4 日 メイン会場 福井市フェニックスプラザ
第二分科会会場 国際交流会館

視察報告

【福井駅周辺】

- ・福井駅に複数の案内係の配置あり
- ・実行委員はお揃いの青色ポロシャツ着用
- ・駅前ロータリーに送迎バスあり



【会場受付】

- ・圏域ごと、来賓・役員用の受付
- ・荷物クロークあり
- ・時期開催県(福島 香川) 別待機室の準備あり
- ・冊子、アンケート、広報物、専用バッグ



【メイン会場】

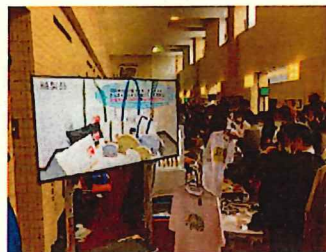
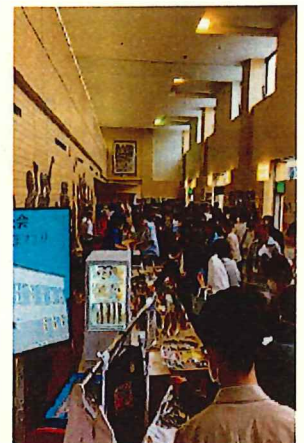
- ・開会式 県知事/市長の来賓挨拶あり
- ・スクール形式(一部椅子のみ)永年表彰者前方配置
- ・時期開催県協会 前方配置
- ・祝花の準備
- ・作品公募の表彰あり
- ・カメラ業者設置 ⇒基調講演講師(体調不調)
オンライン接続可能とする専門業者あり
資料に発表者の映像あり





【展示・物販ブース】

- ・500 円の物販割引券あり
- ・大会作品公募及び展示あり
- ・1 日目会場 2日目福井駅前



【情報交換会】

- ・会場キャパが小さく混雑した 会場の広さ必要
- ・ビュッフェ形式だったが少なかった
- ・立食でも時間的には問題なし
- ・参加者全体の50%程度の参加率
- ・余興は、ご当地感がありよかった(チアダンス)



【2日目 第2分科会】

- ・オンライン研修での対応となった
- ・会場が狭く、テーブルが欲しかった
- ・講義はとてもよかった(特に愛着障害)
- ・ロビーに水・コーヒー等があったのは良かった
- ・弁当は豪華だった
- ・物販もあったが、集客少ない



令和6年10月11日

作成者 研修委員長 品川寿仁

【1】福島県自立支援協議会地域生活支援部会

6/11 第1回福島県自立支援協議会 地域生活支援部会

- ・R6年度活動方針 ・地域生活移行促進コーディネーター派遣事業
- ・第7期福島県福祉計画 地域生活移行目標60名/1940名(R6~9)

8/5 施設入所者の地域生活への移行促進研修会

入所施設、基幹相談支援センター、障がい福祉課等 84名参加

<事例紹介> あかまつ荘 渡部様 アガッセ 木村様

地域生活移行アンケート 市町村53 施設38 回答

12/2 第2回福島県自立支援協議会 地域生活支援部会

- ・自立支援協議会報告 ・コーディネーター派遣事業について
- ・強度行動障がい支援検討ネットワーク（子ども部会と合同）
- ・R7年度 中核的支援人材養成研修実施状況の報告

【2】地域生活支援部会 部会長として以下の会議に出席

10/2 福島県自立支援協議会 運営委員会

- ・第5次福島県障がい者計画の実施状況
- ・第6期福島県障がい福祉計画、第2期福島県障がい児福祉計画の実施状況
- ・福島県自立支援協議会運営委員会における協議事項の検討、調整方法について
- ・福島県自立支援協議会における協議事項について

10/31 福島県自立支援協議会

- ・運営委員会の内容確認
- ・協議1 医療ケア児の支援体制について
- ・協議2 双葉郡からの避難住民への支援体制について

その他 ①福島県災害ケースマネジメント②障がい児者施設危機対応強化支援事業

R7年 1/30 第2回 福島県自立支援協議会 運営委員会

- ・福島県自立支援協議会各部会及び各圏域活動状況
- ・自立支援協議会における協議事項について「医療ケア児に対する支援環境構築」

2/14 第2回 福島県自立支援協議会

- ・運営委員会と同上
- ・「障がいを理由とする差別の解消推進の為の福島県職員対応要領」R7年2月改定

2/20 地域生活移行アンケート結果による聞き取りで「おおなみ学園」訪問 GHへ1名

*R7年度 強度行動障がい 中核的人材養成研修者 児童1名 者1名 検討中

R7年度 中核的支援人材養成研修参加者による伝達研修予定（オンライン）

【3】住宅確保要配慮者あんしん居住支援専門部会

8/29 R6年度第1回あんしん居住支援専門部会

- ・R5年度居住支援部会事業報告 各圏域の取組など
- ・R6年度居住支援部会事業計画 他

別紙(回答様式)

《送付先》

福島県保健福祉部障がい福祉課 (担当: 駒木根) 様

FAX 024-521-7929

E-mail komagine_satoru_01@pref.fukushima.lg.jp

提出期限: 令和7年3月18日(火) ※ 添書不要です。

令和7年3月17日

委員氏名: 岡崎立郎

令和6年度第1回福島県障がい者施策推進協議会(書面)

の審議について(回答)

このことについては、下記のとおりです。

記

1 審議結果

(1) 福島県障がい者施策推進協議会会長及び副会長の選出について

※ 下記に○を記載いただくとともに、意義ありの場合については、記載欄に意見を
お願いします。

(異議なし ・ 異議あり)

【意義ありの場合】

(2) 「第5次福島県障がい者計画」の実施状況について

※ 下記に○を記載いただくとともに、意見がある場合、適当でないと考える場合に
ついては、記載欄にて回答をお願いします。

(適当と認める ・ 意見付きで適当と認める ・ 適当でない)

別紙(回答様式)

【意見又は適当と認めない理由】※該当箇所のページ数をご記入願います。

P7 (3) (ア) 地域生活移行の促進・定着について6年度入所施設、市町村に調査アンケートを実施。入所施設14カ所から移行希望者がいても移行後の場所を見つけるのが困難13%、移行後の見守りや福祉サービスの資源が不足16%、市町村53件の回答では、移行促進の取り組み特になしと28%が回答、障がい者への住民の理解不足9%、地域に居住の場がない43%、移行後の支援が不足46%との回答であった。県から市町村に住民に対して障がい者の居住の場について理解促進を図れるよう他の地区で行っている、先駆的な取り組み等を参考にして、働きかけをするように声掛けをお願いしたい。空地の活用、空き家情報の提供や地域住民の方の支援体制など施設だけが頑張るのではなく、行政、町内会など地域皆で支えるという土壌づくりをお願いしたい。

P18 (2) 障がいのある子どもへの教育的支援 (ウ) 障がいのある生徒へのキャリア教育の充実について、技能競技大会の参加者が将来的に企業の人事担当者との関係ができ障がい者雇用につながるような仕組み、きっかけが出来ればよいと思う。P24 (1) (ア) 障がい者雇用の促進も同様にアビリンピックに企業の採用担当者に参加して雇用につながるような場になれば良いと思う。

P27 (1) (ア) 外出、移動しやすい環境整備について、聴覚障がい者の方がバス利用した際、ノルカカードが残高不足で車掌から怒られ困った場面があったとの事。具体的には、車掌から残高不足と言われたが聞こえない為できれば残高不足と表示が出るような視覚的にわかりやすい物が乗降口にあると助かると話があった。今後は是非検討をお願いしたい。手話言語条例があってもうまくいっていない場面がある。

(3) 「第6期福島県障がい福祉計画、第2期福島県障がい児福祉計画」の実施状況について

※ 下記に○を記載いただくとともに、意見がある場合、適当でないと考える場合については、記載欄にて回答をお願いします。

(適当と認める ・ 意見付きで適当と認める ・ 適当でない)

【意見又は適当と認めない理由】※該当箇所のページ数をご記入願います。

P3 の23 平均工賃月額について、R6年度、急に工賃が20,000円に4,000円程増えているが工賃の計算方法が変わったことが理由で利用者の平均工賃は、実質的に変わっていないと思われる。

令和5年度
第5次福島県障がい者計画の実施状況

節	施策	実施状況と成果 (数値、具体例)
(2) 相談支援体制の構築	(ウ) 多様な相談機関の活動促進	○ 精神科救急に関する受診先の紹介や対応方法などの適切な助言が行える電話相談体制の充実 精神科救急医療システム運営業務 来院 584件 入院 273件
		○ ピアサポーター等の養成、自立生活センター等の活動を支援 障害者ピアサポート研修(基礎研修・専門研修)を実施した。 実施回数: 1回
		○ 支援の必要性に応じた適切な支給決定の実施に向けた取組 障害支援区分認定における客観的かつ公平・公正な認定調査を実施するために必要な基礎知識、技能の習得及び向上を目的として、障害支援区分認定調査員研修を実施した。 障害支援区分の認定調査に初めて従事する事業所の職員及び市町村等職員を対象に、1回実施し、56名が終了した。
		○ 地域生活への移行、地域生活の定着、就労支援といった課題に対応したサービス提供体制を整え、障がいのある方の生活を地域全体で支えるシステムを実現するため、地域生活支援の拠点づくり 県自立支援協議会地域生活支援部会 2回開催
(3) 地域生活移行の促進・定着	(エ) 相談支援従事者等の養成と資質向上	○ 依存症に関する問題を抱える方の問題改善 問題の改善に取り組む民間団体の活動に対し、事業費を助成 補助: 1団体
		○ 地域住民が抱える複雑化・複合化した課題に対応する包括的な相談支援体制を構築 市町村の重層的支援体制整備事業の実施に向けた支援として、研修会の開催、市町村等への訪問支援、アドバイザーの派遣を実施した。 (令和5年度実施市町村: 2市)
		○ 相談支援体制の充実及び障害福祉サービスの質の向上を図るため、県自立支援協議会人材育成部会において、研修の質の向上及び地域ごとの継続的なスキルアップの仕組みづくり、相談支援事業所の評価手法等の検討 県自立支援協議会人材育成部会 開催2回
		○ 市町村への支援 基幹相談支援センター連絡会議に出席し、情報提供等を行った。
(3) 地域生活移行の促進・定着	(ア) 地域への円滑な移行と安心できる生活への支援	○ 相談支援従事者及びサービス管理責任者の養成・資質の向上 相談支援従事者養成研修及びサービス管理責任者等養成研修を実施
		○ 市町村の協議会による入所施設等の地域生活への移行及び定着に対する取組を支援 県自立支援協議会地域生活支援部会において、県内の入所施設に対し、地域生活移行に関する課題等について調査し、問題把握を行った。

節	施策	実施状況と成果 (数値、具体例)
(3)地域生活移行の促進・定着	(ア)地域への円滑な移行と安心できる生活への支援	○ 市町村が、相談支援の実施主体として、基幹相談支援センターや相談支援事業所と連携し、必要な情報の提供及び助言、サービス利用の支援等を行い、障がいのある方が地域で自立した生活が営めるような支援 基幹相談支援センター連絡会議に出席し、情報提供等を行った。
		○ 県自立支援協議会地域生活支援部会が中心となって、全県的な問題として、現状分析・問題把握とその対策についての協議を行い、市町村の協議会による入所施設等の地域生活への移行及び定着に対する取組を支援 県自立支援協議会地域生活支援部会において、県内の入所施設に対し、地域生活移行に関する課題等について調査し、問題把握を行った。
		○ 民間賃貸住宅への円滑な入居の促進 県居住支援協議会が主催の住宅確保要配慮者あんしん居住支援部会専門部会に1回参加。
	(イ)退院可能な精神障がい者の地域生活移行の促進	● 精神障がいのある方の地域生活を支えるための体制の整備 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築のため、精神障がい者地域移行・地域定着促進検討会を設置。 検討会:3回(参集者:80人)
		○ 地域生活を支える訪問看護事業の推進、居宅事業所の確保 精神科訪問看護を実施する訪問看護事業所の増加を図るための研修会を実施。 実施回数:1回
		○ 関係職員のスキルアップや地域住民の理解を促進するための研修会の開催等 県内6地域で、精神障がい者についての理解促進を図るための研修会を実施。 実施回数:8回 参加者:304人
		● 長期入院している精神障がいのある方の退院意欲の喚起や地域住民の理解促進 ピアサポーター登録者数:86人 精神障がい者ピアサポーター活動支援研修会 実施回数:4回
		○ 精神科病院等及び患者に対するサービスの周知 精神科病院実地指導時に、地域移行支援の制度周知のポスターが掲載されているか確認し、地域移行支援の活用を周知した。 対象:全精神科病院

節	施策	実施状況と成果 (数値、具体例)
(2)障がいのある子どもへの教育的支援等	(イ)幼稚園・小・中学校・高等学校における支援の推進	○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実 ケース会議等を効果的に活用し、より連携した支援ができるようにする。 個別の教育支援計画の作成は進んできたため、引継ぎや関係機関との連携など計画の活用に向けた支援を行っていく。
		○ 一貫した支援の充実、中高連携 ・「教育支援協議会」を対面開催。 ・協議会及び学校へ資料を配付し、個別の教育支援計画の活用についての理解啓発を図った。 ・学びの連続性や学校間の接続についての重要性、校内の組織づくりについて、様々な会議の中で呼びかけた。
		○ 介助員等の配置などによる「共に学ぶ」環境の整備 高等学校における介助員の配置状況は、全日制3校3名であり、定時制への配置はなかった。生徒が学校生活にスムーズに適応できるよう、介助員は授業等すべての教育活動における生徒の移動の介助等の業務を行った。
		○ 児童生徒一人一人の教育的ニーズを明確にした指導及び関係機関と連携した進路選択を支援 ハローワークや障がい者就業・生活支援センターと連携し、生徒一人一人の適性を踏まえた適切な進路選択、進路実現ができるよう、早期から卒業後までの継続した進路相談等を実施した。
		○ 重複障がいのある児童生徒への専門家の指導・助言による指導の充実 医療的ケアを含めた外部講師の研修会を開催による指導・支援の充実 特別支援学校教員の専門性向上を図るために、各特別支援学校において、外部人材を活用した研修会を開催した。
		○ 各学校におけるセンター的機能の充実 特別支援教育センターでの研修講座開設に加え、各学校等で開催する特別支援教育に関する研修会において、特別支援教育センター指導主事、教育事務所指導主事、特別支援学校教員が講師を務め、研修支援を実施した。
	(ウ)障がいのある生徒へのキャリア教育の充実	○ 職業教育や進路指導の充実 生徒のより実践的な技能の向上に向け、企業関係者を講師として招聘し、清掃や接客等について技術指導を受ける機会を設けた。
		○ 特別支援学校作業技能大会の開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策が5類へ移行されたことから、人数制限を設けずに開催した。第11回特別支援学校作業技能大会を8月に、ビックパレットふくしまで開催した。 参加生徒数 186名、来場事業所数 36社、来場者数 744名 (R5・参加者を制限せずに実施)

第6 生活環境

節	施 策	実施状況と成果 (数値、具体例)
(1)外出、 移動しやすい環境整備	(ア)公共 交通機関 及び公共 施設の ユニバーサル デザインの推進	○「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」に基づいた道路整備 ・公共施設や福祉施設の周辺の歩道等において、ユニバーサルデザインに基づいた段差の改善や視覚障がい者誘導用ブロックの設置、車椅子でのスムーズなすれ違い確保のための歩道拡幅などを実施しました。 やさしい道づくり推進事業 6箇所 C=108百万円 ・国道252号(会津若松市七日町)外2箇所において、無散水消雪施設の調査・設計及び工事を推進した。
		○ユニバーサルデザインに配慮した歩道ネットワークの整備 白河駅白坂線(白河市)外4箇所において、無電柱化による障害物除去など歩道整備を実施した。 (事業期間H14～、補助事業(街路)および街路事業、1,050百万円)
		○指針に基づきユニバーサルデザインの実現 各設計委託・工事特記仕様書にユニバーサルデザイン指針に基づく検討欄を設け、対象工事について可能な限りユニバーサルデザインの実現に取り組むよう推進した。
		○市町村に対する移動の円滑化に関する情報の提供、 バリアフリー新法に基づく基本構想の策定及び事業実施に際する助言 ・県内4市のバリアフリー基本構想に基づいて交通安全施設等整備事業を実施し、バリアフリー対応の信号機の整備を推進した。 令和5年度:2基整備 ・各市で制定を進めているマスタープラン等に対し、各種助言を実施した。
		○移動等円滑化の促進 ・鉄道駅移動円滑化施設整備事業 令和5年度決算額:7,925千円 JR東北本線須賀川駅にエレベーター2基を設置する費用の一部を支援した。 ・生活路線バス運行維持のための補助事業(通常) R5年度決算額 66,781千円 ノンステップバス等の導入について、国補助と強調し、複数市町村にまたがる路線に用いる車両の購入を支援した。 (車両減価償却費等補助 福島交通(株)31台、会津乗合自動車(株)18台、新常磐交通(株)5台)
		● おもいやり駐車場利用制度の普及 車椅子使用者駐車施設(以下「駐車施設」)の適正利用を図るため、パーキングパーミット制度(駐車施設を利用できる人を明確にし、対象者に利用証を発行し駐車時に掲示を求める制度)を実施するとともに、当該制度の普及・啓発を図った。 利用証交付者の利便性を図るため、全国40府県1市において、利用証の相互利用を実施している。 ・利用希望者に対する利用証の交付 ・協力施設の募集 ・各関係機関及び施設利用者に対するチラシ・ポスターの配付。 ・令和5年度成果 利用証交付数 6,418件 協力施設数 1,281件

第6期 福島県障がい福祉計画実施状況

	項目名		県計	
17	就労定着支援事業所の利用者の就労定着率(8割以上の事業所を全体の7割以上)【%】	R3年度末 実績(A)	84.6	
		R4年度末 実績(B)	71.4	
		R5年度末 実績(C)	70.6	
		R5年度末 目標(D)	70	
		進捗率(C/D)	100.9%	
18	就労移行支援事業の利用者【人】	R3年度末 実績(A)	850	
		R4年度末 実績(B)	624	
		R5年度末 実績(C)	528	
		R5年度末 目標(D)	534	
		進捗率(C/D)	98.9%	
19	障がい者に対する職業訓練の受講【人】 ※福祉施設から一般就労へ移行する者のうち、職業訓練の受講者数。	R3年度末 実績(A)	14	
		R4年度末 実績(B)	12	
		R5年度末 実績(C)	15	
		R5年度末 目標(D)	14	
		進捗率(C/D)	107.1%	
20	福祉施設から公共職業安定所への誘導【人】 ※福祉施設から一般就労へ移行する者のうち、公共職業安定所の利用者数。	R3年度末 実績(A)	105	
		R4年度末 実績(B)	129	
		R5年度末 実績(C)	178	
		R5年度末 目標(D)	150	
		進捗率(C/D)	118.7%	
21	福祉施設から障害者就業・生活支援センターへの誘導【人】 ※福祉施設から一般就労へ移行する者のうち、障害者就業・生活支援センターの利用者数。	R3年度末 実績(A)	60	
		R4年度末 実績(B)	55	
		R5年度末 実績(C)	57	
		R5年度末 目標(D)	94	
		進捗率(C/D)	60.6%	
22	公共職業安定所における福祉施設利用者の支援【人】 ※福祉施設から一般就労へ移行する者のうち、公共職業安定所の支援を受けて就職する者の数。	R3年度末 実績(A)	61	
		R4年度末 実績(B)	43	
		R5年度末 実績(C)	69	
		R5年度末 目標(D)	187	
		進捗率(C/D)	36.9%	
23	平均工賃月額【円】 ※R5年度実績は国において集計中	R3年度末 実績(A)	15,194	
		R4年度末 実績(B)	15,993	
		R5年度末 実績(C)	-	
		R5年度末 目標(D)	20,000	
		進捗率(C/D)	-	
24	優先調達方針策定市町村【市町村】	R3年度末 実績(A)	53	
		R4年度末 実績(B)	48	
		R5年度末 実績(C)	49	
		R5年度末 目標(D)	59	
		進捗率(C/D)	83.1%	

第6期福島県障がい福祉計画・第2期福島県障がい児福祉計画の実施状況

《障害福祉サービス等の成果目標》

	項目名	県計	
1	福祉施設の入所者の地域生活への移行	地域生活への移行者【人】	R3年度末実績(A) 24
		※目標値: R3～R5年度までの累計	R4年度末実績(B) 7
			R5年度末実績(C) 7
			R5年度末目標(D) 120
		(3カ年合計値に対する進捗)	進捗率((A+B+C)/D) 31.7%
2	福祉施設入所者【人】	R3年度末実績(A)	1,981
		※目標値: R元年度2,007人▲1.6%(32人)	R4年度末実績(B) 1,957
			R5年度末実績(C) 1,940
			R5年度末目標(D) 1,975
			進捗率(2,007-C)/32 209.4%
3	精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数【日】	【参考】R2年度末実績	320
		R3年～5年度末	-
		※国において集計中	国において集計中
			R5年度末目標(D) 316
			進捗率
4	長期在院者【人】	R3年度末実績(A)	2,979
		①2,989人(基準年R元年度)－2,590人(目標値)	R4年度末実績(B) 2,808
		②2,989人(基準年R元年度)－2,591人(R5年度実績)	R5年度末実績(C) 2,591
			R5年度末目標(D) 2,590
			進捗率(②/①) 99.7%
5	入院後3か月時点の退院【%】	【参考】R2年度末実績	63.7
		R3年～5年度末	-
		※国において集計中	国において集計中
			R5年度末目標(D) 69
			進捗率(C/D)
6	入院後6か月時点の退院【%】	【参考】R2年度末実績	80.1
		R3年～5年度末	-
		※国において集計中	国において集計中
			R5年度末目標(D) 86
			進捗率(C/D)
7	入院後1年時点の退院【%】	【参考】R2年度末実績	87.6
		R3年～5年度末	-
		※国において集計中	国において集計中
			R5年度末目標(D) 92
			進捗率(C/D)
8	福祉施設から一般就労への移行等	R3年度末実績(A)	170
		R4年度末実績(B)	145
		R5年度末実績(C)	236
		R5年度末目標(D)	187
			進捗率(C/D) 126.2%

監事報告

監 査 報 告 書

福島県知的障害者福祉協会の令和6年度事業報告並びに収支決算書について、令和7年4月18日午前9時00分より太陽の国管理センター4階大会議室において、関係諸帳簿等を精査した結果、事業が適正に施行され、公正妥当な会計処理がなされていた事を認めましたので、ここに御報告申し上げます。

令和 7 年 4 月 18 日

監 事

深谷 健



This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

議 案 2

令和 7 年度事業計画及び収支予算 (事務局・部会・委員会)

令和7年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動計画

日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
全国知的障害関係施設長等会議	令和7年7月10日(木)～11日(金)	東京都
日中活動支援部会全国大会	令和7年12月4日(木)～5日(金)	新潟県
障害者支援施設部会全国大会	令和7年12月17日(水)～18日(木)	愛知県
全国知的障害福祉関係職員研究大会	令和7年11月27日(木)～28日(金)	福島県
全国グループホーム等研修会	令和7年9月18日(木)～19日(金)	山形県
相談支援・就業支援セミナー	令和7年10月23日(木)～24日(金)	東京都
全国生産活動・就労支援部会職員研修会	令和7年6月30日(月)～7月1日(火)	北海道
全国会長・事務局長会議	令和7年10月29日(水)～30日(木)	東京都
全国児童発達支援施設運営協議会	令和7年11月20日(木)～21日(金)	広島県
リスクマネジャー養成研修会	令和7年11月5日(水)～7日(金)	東京都
リスクマネジャー養成研修会(上級)	令和7年6月5日(木)～6日(金)	東京都
部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議	令和8年3月5日(木)～6日(金)	東京都
障害者支援施設部会全国大会	令和7年12月17日(水)～18日(木)	愛知県
障害のある人の意思決定支援を推進するための実践研修会	令和7年9月25日(木)～26日(金)	東京都

東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
《研修会・会議等》		
東北地区知的障害者福祉協会施設長・管理者等連絡協議会及び総会	令和7年6月16日(月)～17日(火)	山形県
東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	未定	未定
東北フォーラム実行委員会	未定	未定
東北フォーラム 2025in あおもり	未定	未定
東北未来塾(仮称)	未定	未定
《役員会等》		
理事会	令和7年5月16日(金)	岩手県
種別部会代表者会議	未定	未定
政策委員会	未定	未定
研修委員会	未定	未定
人権倫理委員会	未定	未定
災害対策委員会	未定	未定

福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
第1回理事会及び第1回福島大会実行委員会	令和7年4月18日（金）	西郷村
令和7年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	令和7年4月25日（金）	郡山市
ビッグパレット館内見学	令和7年4月25日（金）	郡山市
第1回正副会長会議	令和7年5月	西郷村
第2回福島大会実行委員会	令和7年5月	オンライン
第3回福島大会実行委員会	令和7年6月	オンライン
第4回福島大会実行委員会	令和7年7月	オンライン
第5回福島大会実行委員会	令和7年8月	オンライン
第6回福島大会実行委員会	令和7年9月	オンライン
第7回福島大会実行委員会	令和7年10月	オンライン
第2回正副会長会議	令和7年10月	西郷村
第12回作文コンクール福島県選抜作品選定	令和7年10月	西郷村
第8回福島大会実行委員会	令和7年11月	オンライン
第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島）	令和7年11月27日（木）～28日（金）	郡山市
第2回理事会	令和7年12月	西郷村
第2回施設長・管理者等連絡協議会	令和7年12月	郡山市
令和7年度合同研修会実行委員会	令和8年2月	中止
令和7年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和8年2月	中止
第3回正副会長会	令和8年3月	西郷村

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会事業計画（案）

○基本方針

- 1 福島県知的障害者福祉協会加盟施設の運営と連携を円滑にし、各部会及び委員会活動を通して施設の利用者支援の健全化や育成を図る。
- 2 施設職員と施設利用者の家族・地域との関わりを深める活動を行う。
- 3 福島県知的障害児者生活サポート協会等、関連する他団体との協力を密にする。
- 4 加盟施設における人権擁護と意思決定支援を柱とした知的障害児者の支援の取り組みを推進する。

○活動計画

- 1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。
- 2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。
- 3 人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう、加盟事業所と協力する。
- 4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。
- 5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。
- 6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。
- 7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力を行う。
- 8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。
- 9 相談支援部会の発足を円滑に進める。
- 10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催に向け、実行委員会の開催、名鉄観光様等との打ち合わせなど開催について準備を進める。
- 11 感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。
- 12 その他

令和7年度 収支予算書（一般会計）（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費収入	6,430,000	6,390,000	40,000	
日本知的障害者福祉協会会費	3,600,000	3,580,000	20,000	113施設・事業所
東北地区知的障害者福祉協会会費	530,000	540,000	△ 10,000	113施設・事業所
福島県知的障害者福祉協会会費	2,300,000	2,270,000	30,000	113施設・事業所
委託費収入	2,000,000	2,000,000	0	サポート協会
助成金収入	700,000	1,490,000	△ 790,000	
日本知的障害者福祉協会助成金	100,000	90,000	10,000	
研究助成金	600,000	1,400,000	△ 800,000	サポート協会
雑収入	30,660,000	2,000,000	28,660,000	
雑収入	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	AIG損保集金事務費
雑収入（全国大会）	29,660,000	0	29,660,000	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会） 義援金会計より200,000円繰入
前期繰越金	12,151,754	12,881,394	△ 729,640	
【収入合計】	51,941,754	24,761,394	27,180,360	

【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務費支出	32,700,000	3,180,000	29,520,000	
事務委託費	2,750,000	2,750,000	0	会長所属法人 75万円 事務局所属法人200万円
消耗品費	200,000	300,000	△ 100,000	
通信運搬費	70,000	100,000	△ 30,000	
雑費	20,000	30,000	△ 10,000	
雑費（全国大会）	29,660,000	0	29,660,000	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）
事業費支出	3,960,000	4,480,000	△ 520,000	
会議費	1,450,000	550,000	900,000	総会・施設長会議・web会議ライセンス料 第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）負担金
旅費	1,200,000	2,600,000	△ 1,400,000	
研究調査費	1,270,000	1,270,000	0	部会・委員会活動費
広報費	20,000	30,000	△ 10,000	ホームページ利用料
慶弔費	20,000	30,000	△ 10,000	
会計単位間繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	
合同研修会会計繰入金支出	0	100,000	△ 100,000	合同研修会中止
会費支出	4,130,000	4,120,000	10,000	
日本知的障害者福祉協会会費	3,600,000	3,580,000	20,000	
東北地区知的障害者福祉協会会費	530,000	540,000	△ 10,000	
予備費（次期繰越金）	11,151,754	12,881,394	△ 1,729,640	
【支出合計】	51,941,754	24,761,394	27,180,360	

令和7年度 収支予算書（義援金会計）（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
義援金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	304,086	303,920	166	
【収入合計】	304,086	303,920	166	

【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会計単位間繰入金支出	200,000	0	200,000	
一般会計繰入金支出	200,000	0	200,000	第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）への繰入金
事務費支出	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
義援金支出	0	0	0	
予備費（次期繰越金）	104,086	303,920	△ 199,834	
【支出合計】	304,086	303,920	166	

令和7年度 収支予算書（合同研修会会計）（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
参加費収入	0	3,757,000	△ 3,757,000	
参加費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
宿泊費（懇親会含）	0	2,660,000	△ 2,660,000	
懇親会費	0	97,000	△ 97,000	
福島県サポート協会助成金	0	500,000	△ 500,000	
会計単位間繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
一般会計繰入金収入	0	100,000	△ 100,000	
前期繰越金	2,543,665	2,542,279	1,386	
【収入合計】	2,543,665	6,899,279	△ 4,355,614	

【支出の部】

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務費・事業費	0	4,157,000	△ 4,157,000	
会場経費	0	2,757,000	△ 2,757,000	
講師等謝礼	0	300,000	△ 300,000	
印刷製本費	0	300,000	△ 300,000	
旅費	0	200,000	△ 200,000	
事務局経費	0	600,000	△ 600,000	
予備費（次期繰越金）	2,543,665	2,742,279	△ 198,614	
【支出合計】	2,543,665	6,899,279	△ 4,355,614	

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援 事業計画(案)

児童発達支援部会

部会長 佐藤元彦

令和7年度の活動目標 現行制度の理解、適正な運用を行えることを目指す。

運用していく上で出される様々な問題点を問題提起する機会を作る。

その他、各事業所が抱える様々な問題点を共有し、解決しあえる場を作る。

活動計画;

(通所)

1 「発達段階に応じた支援プログラムを強化し、個別支援計画の実効性を高める」とは、子どもの発達状況に応じた具体的な支援を計画・実行・評価する仕組みを強化すること。これによって、子ども一人ひとりに合った支援を提供し、確実な提供につなげていく。

a 個別支援の充実と質の向上

・ 個別支援計画の実効性を高める。

b 支援者のスキル向上と研修の充実

・ 最新の療育手法や支援技術に関する研修を実施し、支援の質を向上させる。

・ 県内外の先進的な支援事例を学ぶ機会を増やし、知識の共有を促進する。

c 地域との連携強化

・ 地域の関係機関(行政・医療機関・福祉施設など)と連携し、支援ネットワークを拡充する。

(入所)

1 入所施設からの地域移行

a 生活場所の確保(加齢児問題含む)

・ 課題を共有し、その課題の解決に向けて検討する。

b 地域社会の受け入れ態勢の確保、地域との連携強化

・ 県内外の先進的な支援事例を学ぶ機会を増やし、知識の共有を促進する。

・ 地域の関係機関(行政・医療機関・福祉施設など)と連携し、支援ネットワークを拡充する。

(共通)

1 令和6年度報酬改定による問題点の洗い出し、制度の正しい理解を行いつつ、次回報酬改定に向けての問題点を抽出していく。

a 制度の理解

・ 現行制度の理解を高める。

実行計画;

1 研修会を実施します。

・ 対面研修(2回実施予定)

1 令和7年5月10日(土) 予定

開催場所; 白河市図書館

参加者数; 100名

内容;

1 「癒しの瞬間」ということで塩澤輝さんのキーボード演奏を聴く

2 講演「子ども家庭庁の施策について」

講師 子ども家庭庁障害児支援課 課長補佐 鈴木久也氏

3 講演「今、求められる5領域」2

～「療育」から「発達支援」へ～

講師 NPO法人銀河 理事長 菊池健弥氏

2 令和7年10月 予定

開催場所; 未定

参加者数; 50名

内容;

1 講演「今、求められる5領域」3

～「療育」から「発達支援」へ～

講師 NPO法人銀河 理事長 菊池健弥氏

2 事例検討に基づいたグループワーク

2 アンケート調査を実施します。(年に4回) 予定

・ 現状課題抽出の為のアンケート実施する。googleフォーム利用する。

データを共有する。必要と思われる資料等をデータ化して利用できるようにする。

抽出された問題点を解決に向けて話し合える場を作る。

主に下記の点をターゲットにして問題点抽出を行う

施設の運営状況

現在の事業運営の状況について

報酬改定の影響について

施設の財政状況で特に課題となっていること

人材確保と育成の状況

職場環境と働きやすさ

現在の職場環境について

仕事のやりがいについて

現場の負担について

仕事の悩み・ストレスについて

ワークライフバランスについて

支援の現状と課題

支援の質の向上のために必要なもの

支援をする上で特に課題と感ずる点

今後の研修・支援ニーズ

現在、支援や運営の中で感じている最も大きな課題

児童発達支援の未来のために、必要だと考えること

- ・ ホームページやSNSの活用にて風通しの良い環境をつくる。
- ・ zoomやgoogle Meetを活用してweb会議を実施する。

以上

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	20,000	10,000	10,000	
部会運営費	10,000	0	10,000	
通信費	5,000	5,000	0	切手代等
消耗品	5,000	5,000	0	コピー用紙代等
事業費	80,000	90,000	△ 10,000	
研修費	70,000	20,000	50,000	会場費、講師謝礼等
雑費	10,000	70,000	△ 60,000	お茶代等
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

令和7年度 障害者支援施設部会活動計画（案）

1. 事業内容

（1）「令和7年度全国知的障害福祉関係研究大会（福島）」に係る打ち

合わせ

※参集又はオンラインで複数回開催予定。

（2）施設見学・情報交換会

① 施設見学：「さざなみ学園見学」

※今年の3／15に移転竣工し、4／1に運用開始。

② 情報交換会：テーマ「施設が抱える問題点及び情報提供（仮題）」

について

③ 開催時期：未定

（3）新着情報の発信

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会 予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	40,000	40,000	0	
部会運営費	20,000	20,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
消耗品	10,000	10,000	0	
事業費	50,000	50,000	0	
研修費	40,000	40,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	10,000	10,000	0	
合 計	100,000	100,000	0	

令和 7 年度日中活動支援部会 事業計画（案）

1 事業内容

① 職員研修

(1) 支援技術や支援の質向上及び障がい者支援の具体的な DX の活用及び最新機器の情報についての研修

(2) 情報・意見交換を行う

- ・ 各施設の DX 活用状況等の情報交換
- ・ 求人活動の情報交換

※ 研修の開催期間・開催方法については部会長、副部会長と協議の上、決定する。

② 視察研修会

- ・ 県内の先進的活動及び技術(DX 等)を活用している施設見学を実施する。

2 その他

- ・ 新着情報の提供
- ・ 令和 7 年度全国知的障害福祉関係研究大会へ向けての準備

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	50,000	50,000	0	
消耗品費	25,000	25,000	0	事務用品
渉外費	20,000	20,000	0	講師謝礼
雑費	5,000	5,000	0	振込手数料
事業費	45,000	45,000	0	
会議費	30,000	30,000	0	
賃借料	10,000	10,000	0	研修会場借用費
雑費	5,000	5,000	0	
予備費	5,000	5,000	0	
合 計	100,000	100,000	0	

令和 7 年度 地域支援部会事業計画(案)

部会長 荒 里美

1. 事業内容

① 福島県

第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)

日にち	場所	備考
令和 7 年 11 月 27 日(木)～ 令和 7 年 11 月 28 日(金)	ビッグパレットふくしま	開催に向けて、随時 打ち合わせを行う 開催後、振り返りを行う

② 東北地区

全国グループホーム等研修会

日にち	場所	備考
令和 7 年 9 月 18 日(木)～ 令和 7 年 9 月 19 日(金)	山形テルサ (山形県)	

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 地域支援部会 予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	95,000	95,000	0	
会議・研修費	50,000	50,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
賃貸料	5,000	5,000	0	
旅費	30,000	30,000	0	
事務費	5,000	5,000	0	
消耗品	5,000	5,000	0	
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

令和7年度 生産活動・就労支援部会事業計画（案）

生産活動・就労支援部会

1 会議・研修等

①全国知的障害関係施設長等会議

期日：令和7年7月10日（木）・11日（金）

開催地：東京国際フォーラム

②東北地区施設長等会議

期日：未定

開催地：未定

③全国生産活動・就労支援部会職員研修会

期日：令和7年6月30日（月）、31（火）

開催地：北海道

2 事業等

①全国知的障害福祉関係職員研究大会

期日：令和7年11月27日（木）・28日（金）

開催地：福島県

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会部会 収支予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	100,000	100,000	0	
本部助成金	100,000	100,000	0	協会助成金
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事業費	90,000	90,000	0	
会議・研修費	90,000	90,000	0	
事務費	10,000	10,000	0	
雑費	9,450	9,560	△ 110	
振込手数料	550	440	110	協会戻入振込手数料
予備費	0	0	0	
合 計	100,000	100,000	0	

令和7年度 福島県知的障害福祉協会 支援スタッフ部会 事業計画(案)

1.活動テーマ 「利用者の人権が擁護された支援技術の向上」

2.活動の目的

利用者 1 人 1 人にとって必要な権利擁護を常に考え、支援を行なっていけるよう専門的知識を学び、支援技術が向上していく事を目的とする。

3.基本方針

(1)福島県知的障害福祉協会加入施設の運営と連携を円滑にし、各部会及び調査研究活動を通して施設の健全化や職員の育成を行なっていく。

(2)施設職員と施設利用者の親・家族・地域との関わりを深める活動を行なう。

(3)福島県知的障害児者生活サポート協会等、関連する他団体との協力を密にし、知的障害者の生涯にわたる福祉的支援のあり方の検討を行なう。

4.活動計画

(1)日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等の情報を得ながら、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化できるよう活動を行なっていく。

(2)施設利用者の人権擁護管理体制を強化するため、県知的障害福祉協会人権・倫理委員会と協力しながら施設や事業所利用者の人権が擁護された支援の周知を行なうとともに、各施設に「人権擁護委員会」が設置されることを目指していく。

(3)県全体で障害者の権利条約に基づいての勉強会を実施し障害者権利条約の理念を学び支援の中で活かしていけるように学んでいく。

(4)圏域ごとの支援スタッフ委員会活動を行なっていく。

(5)日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会又は、福島県知的障害福祉協会が主催する各種研究会等への参加を行なっていく。

(6)東北フォーラム開催に関して、福島県主催の場合は事務局運営を行い、他県が主催の場合は福島県より実行委員を選出し、事務局運営に協力する。

【活動計画】(案)

事業名	開催年月	内容	開催場所
第1回 役員会議	令和7年4月	・令和6年度 事業報告及び収支決算報告について ・令和7年度 事業計画(案)・予算(案)について ・監査報告・福祉協会総会報告	未定
令和7年度 支援スタッフ部会総会	令和7年 5月13日	・令和6年度 事業報告及び収支決算報告 ・令和7年度 事業計画(案)・予算(案) ・役員改選について ・各地区打合せ	郡山総合福祉センター 5階 集会室
東北フォーラム 実行委員	令和7年 5月～11月	・実行員会議(数回実施)	未定
役員会議(毎月実施)	令和7年6月 ～令和8年3月	・各地区の活動について ・令和7年度 東北フォーラムについて ・「全国知的障害福祉関係職員研究大会」について ・人権倫理委員共催の研修について ・その他	未定
令和7年度 全国知的障害福祉関係 職員研究大会	令和7年11月	・全体会／分科会 ・大会運営補助等	福島県郡山市 ビックパレット
東北フォーラム 2025 in 青森	令和7年11月	・全体会／分科会 (部会長・実行委員長参加) ・各県より発信	青森県
支援スタッフ部会、人権 倫理委員会共催研修	令和7年 1月、2月	・研修会の企画、開催	未定

【地区の活動計画】(案)

○全地区／事業所数 75箇所

日程	活 動 内 容
・5月 ・6月～2月 ・3月	・部員顔合わせ、意見交換、令和6年度活動内容報告・令和7年度活動計画の確認 ・施設見学、学習会、意見交換会等の計画・実施 ・令和7年度活動のまとめ、令和8年度活動計画の策定

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会 予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	470,000	470,000	0	
本部助成金	470,000	470,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
預金利息収入	0	0	0	
合 計	470,000	470,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	270,000	230,000	40,000	
会議費	200,000	180,000	20,000	日当、旅費
消耗品費	20,000	25,000	△ 5,000	コピー用紙、印刷代
通信運搬費	10,000	5,000	5,000	現金書留代、封筒代、手数料
雑費	40,000	20,000	20,000	お茶代、昼食代
事業費	200,000	240,000	△ 40,000	
研修費	40,000	60,000	△ 20,000	講師費、会場費
各地区活動費	160,000	180,000	△ 20,000	研究調査費
予備費	0	0	0	
合 計	470,000	470,000	0	

令和7年度 人権・倫理委員会 事業計画(案)

福島県知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会として、県内の各障害者施設・事業所の利用者への意思決定支援を喚起すると共に風通しの良い職場環境への改善を図ることで、人権擁護への意識の高揚と虐待を生まない事業所体制を目指す。

【 令和7年度課題 】

- 1 会員施設における「人権擁護に関するアンケート調査」にて、現状を把握する。
- 2 障害者虐待防止の周知と質の高い人権意識の向上。
- 3 行動支援及び意思決定支援に基づくアプローチ。
- 4 事業所(組織)としての風通しの良い職場環境の構築。
- 5 支援スタッフとの共同実施。

【 事業計画 】

- (1) 虐待防止自己チェック表の県内実施。
- (2) 職員スキル学習会を支援スタッフ部会とともに企画。
- (3) 虐待防止責任者・管理者研修会の開催。
- (4) 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)の準備。

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会（人権・倫理委員会）予算書(案)

○収入の部

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
助成金	300,000	300,000	0	
本部助成金	300,000	300,000	0	
雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前期繰越金	0	0	0	
合 計	300,000	300,000	0	

○支出の部

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	摘 要
事務費	130,000	130,000	0	
消耗品費	40,000	40,000	0	コピー用紙他
通信運搬費	5,000	10,000	△ 5,000	
旅費	80,000	75,000	5,000	講師交通費
雑費	5,000	5,000	0	研修お茶代他
事業費	120,000	120,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	会議会場使用料
研究調査費	100,000	100,000	0	講師料・研究調査費
予備費	50,000	50,000	0	
合 計	300,000	300,000	0	

令和7年度 政策委員会 事業計画（案）

政 策 委 員 会
委員長 渡部和哉

1 政策に関する事業計画

- (1) 東北地区知的障害者福祉協会と連携し、日本知的障害者福祉協会へ障害福祉に関する政策提言を継続します。
また、東北地区知的障害者福祉協会政策委員として参画します。

・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定実施後の課題や要望、令和9年度の報酬改定に向けての意見集約をしていきます。
- (2) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ岡崎副会長が参画し、情報発信と共有を図っていきます。
- (3) 令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）を委員と情報共有を図り開催に向けます。

令和7年度 研修委員会 事業計画(案)

1. 研修に関する事業計画

(1)合同研修会の企画・立案

第61回全国知的障害者福祉関係職員研究大会福島大会の為、開催無し

(2)各部会・委員会ごとの研修会

・東北フォーラム2025 青森県にて開催予定

(3)東北地区知的障害者福祉協会研修委員として参画する

・令和7年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会 宮城大会への企画運営
「個別支援計画と意思決定支援」をテーマに実施予定

・東北未来塾開講準備

実施については、東北協会にて検討中

(4)第61回 全国知的障害者福祉関係職員研究大会 福島大会に参画する

令和7年11月27日～28日 ビックパレットふくしま

(5)「福島県障がい者施策推進協議会」へ参画する

以 上

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

【報告事項】

令和7年度予算編成等に対する要望事項(令和6年9月4日 関係福祉団体)
福島県知的障害者福祉協会

番号	新規・継続	要望項目	要望要旨	所要経費	県回答	担当課
1	継続	新型コロナウイルス感染症による収入減に対する補助	令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことで、施設を休んだ方に対して行っていた電話相談支援が給付の対象外になり、請求できなくなったため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を継続していただきますようお願いいたします。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 必要経費	令和6年3月で、国における新型コロナウイルス等感染症対策について、医療提供体制及び公費支援等全て終了となっており、県の財政状況が厳しいことから、県独自の支援も難しいものと考えております。 平時から感染対策の徹底、医療機関との連携強化に努め、感染者が発生した場合には、対応が円滑に行われるよう御協力をお願いします。	保健福祉部 障がい福祉課 (施設)
2	継続	物価・高騰対策	近年、原油価格が高止まりの状態であり、エネルギー関連、食料品の物価高騰の影響を受け、事業所の経費が大幅に増大している為、電気ガス食料品等価格高騰重点支援地方交付金を継続していただきたいと思います。	電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 必要経費	原油価格が高止まりの状態であり、物価高騰の影響が依然として大きいことから、障がい福祉事業所等への切れ目のない支援ができるよう、今後も国へ要望してまいります。	保健福祉部 障がい福祉課 (施設)
3	新規	新型コロナウイルス等感染症対策	新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと同じ5類に移行されましたが、感染力が強く感染予防対策がしにくく、福祉施設において感染者が発生した場合、クラスターとなる危険性が高く、感染拡大を防ぐ必要があります。 保護者や本人の負担軽減を図る為にも、自己負担(最大7,000円)となったワクチン接種料に対する補助制度の新設、並びにまた、水際対策としてのコロナとインフルエンザの両方が検査できる検査キットの配布をお願いいたします。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 必要経費 〈例〉 ワクチン補助7千円 ÷2×施設利用者数 検査キット配布 昨年クラスターが発生した施設利用者数×3	令和6年3月で、国における新型コロナウイルス等感染症対策について、医療提供体制及び公費支援等全て終了となっており、県の財政状況が厳しいことから、県独自の支援も難しいものと考えております。 平時から感染対策の徹底、医療機関との連携強化に努め、感染者が発生した場合には、対応が円滑に行われるよう御協力をお願いします。	保健福祉部 障がい福祉課 (在宅)

第61回 全国知的障害福祉関係職員研究大会
福島大会 開催要項（案）

【大会テーマ】

『明るい未来と未来の福祉』

～支援に携わる職員が福祉の未来を形作る～

【趣 旨】

今、障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんは、自分の仕事に誇りや夢を持っていますか。日々の業務に追われ、初めて仕事に就いた時の気持ち、夢や希望を忘れていませんか。障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんには、ソーシャルワーカーとして高い専門知識と実践の積み重ねによる専門性が求められています。しかしながら、超高齢・少子化社会における深刻な人材不足等は支援の質の低下を招き、支援に携わる職員の皆さんを疲弊させています。

このような中、デジタル技術の躍進は私たちの生活や仕事などに様々な変化をもたらしており、私たちはそれらの発展に一筋の光を見出すと共に否が応でも変化や対応を迫られています。その一方で、福祉は人と人が支え合う対人支援・対人サービスであり、いかにデジタル化が進もうともアナログマインドが根底に息づいています。

デジタルとアナログが交錯する未来において、障がいのある人(クライアント)の幸せとは、支援者としてのやりがいとは何なののでしょうか。本研究大会では、変わりゆく福祉と変わらない福祉の未来を支える職員の皆さんに、あらためて福祉の仕事の楽しさと明るさを伝え、夢や希望を持って働くことを目的に開催します。未来の福祉に思いを馳せながらも福祉の原点に立ち返る中で、福祉に携わる職員のやりがいや元気を取り戻し、明るい未来について語り合しましょう。

【開催日】

2025年11月27日（木）～28日（金）

【実施方法】

対面

【会 場】（全体会・分科会・情報交換会）

全体会・分科会：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南二丁目 52 番地）

情報交換会：郡山ビューホテル・アネックス（福島県郡山市中町 10-10）

【参加対象者】

知的障害関係施設・事業所の職員、福祉に関心のある方

【大会参加費】

16,000円

【情報交換会費】

12,000円

【総合司会】

ラジオパーソナリティ 和合敦子 氏

【基調講演】

辻井いつ子 氏（世界的ピアニスト辻井伸行の母）

【プログラム】

1日目：全体会（開会式・表彰式・行政説明・基調講演・閉会式）

情報交換会

2日目：分科会（6分科会）

【主 催】

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

東北地区知的障害者福祉協会

福島県知的障害者福祉協会

【後援（予定）】

厚生労働省 文部科学省 福島県 郡山市 （社福）全国社会福祉協議会 （一社）全国手をつなぐ育成会連合会 （一社）全国知的障害者施設家族会連合会 （社福）全国重症心身障害児（者）を守る会 （公社）全国脊髄損傷者連合会 （一社）全国肢体不自由児者父母の会連合会 （一社）全国児童発達支援協議会 （公社）日本重症心身障害福祉協会 （公社）日本精神科病院協会 全国社会就労センター協議会 （特非）日本相談支援専門員協会 （特非）全国地域生活支援ネットワーク 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 （特非）日本障害者協議会 （一社）日本発達障害ネットワーク （公社）日本発達障害連盟 （一社）日本自閉症協会 （社福）福島県社会福祉協議会 福島県知的障害児者生活サポート協会

【大会日程】

<1日目>

令和7年11月27日（木）	
12:00	受付
13:00	開会式
13:05	開会宣言
13:10	主催者挨拶
13:15	来賓祝辞
13:20	来賓紹介
13:25	祝電披露
13:30	表彰式
13:45	行政説明（厚生労働省）
14:45	休憩
15:00	基調講演
16:30	閉会式
16:35	次期開催県挨拶
16:40	閉会宣言
16:45	事務連絡
16:50	移動
18:30	情報交換会

<2日目>

令和7年11月28日（金）	
9:30	受付
10:00	3分科会「デジタル」
11:30	昼食
13:00	3分科会「アナログ」
14:30	大会終了

【分科会】

分科会：テーマ	会場	担当
テーマ：「 検討中 」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：福島学院大学講師 川島慶子氏	コンベンションホール A	児童発達支援部会
テーマ：「福祉におけるデジタル技術の日本と海外の比較について」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：株式会社国際社会経済研究所調査研究部 遊間和子氏	コンベンションホール A	障害者支援施設部会
テーマ：「障がい者支援におけるDXの活用と現状」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：東北福祉大学講師 高橋俊史氏 清水基金主事 岡田 氏	コンベンションホール B	日中活動支援部会
テーマ：「障害者支援施設におけるIT・AI導入と工賃向上」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：スマートインクルージョン推進機構代表理事 竹村和浩氏	中会議室 A・B	生産活動・就労支援部会
テーマ：「 検討中 」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：東洋大学教授 高山直樹氏	コンベンションホール B	地域支援部会
テーマ：「障害者の意思決定支援について」 サブテーマ：～ 未定 ～ 講師：東洋大学教授 志村健一氏	中会議室 A・B	支援スタッフ部会 人権・倫理委員会

【分科会（「デジタル」＆「アナログ」）】

分科会Ⅰ：「福祉におけるデジタル技術の日本と海外の比較について」：障害者支援施設部会 & 「 検討中 」児童発達支援部会
分科会Ⅱ：「障がい者支援におけるDXの活用と現状」：日中活動支援部会 & 「 検討中 」：地域支援部会
分科会Ⅲ：「障害者支援施設におけるIT・AI導入と工賃向上」：生産活動・就労支援部会 & 「障害者の意思決定支援について」：支援スタッフ部会及び人権・倫理委員会

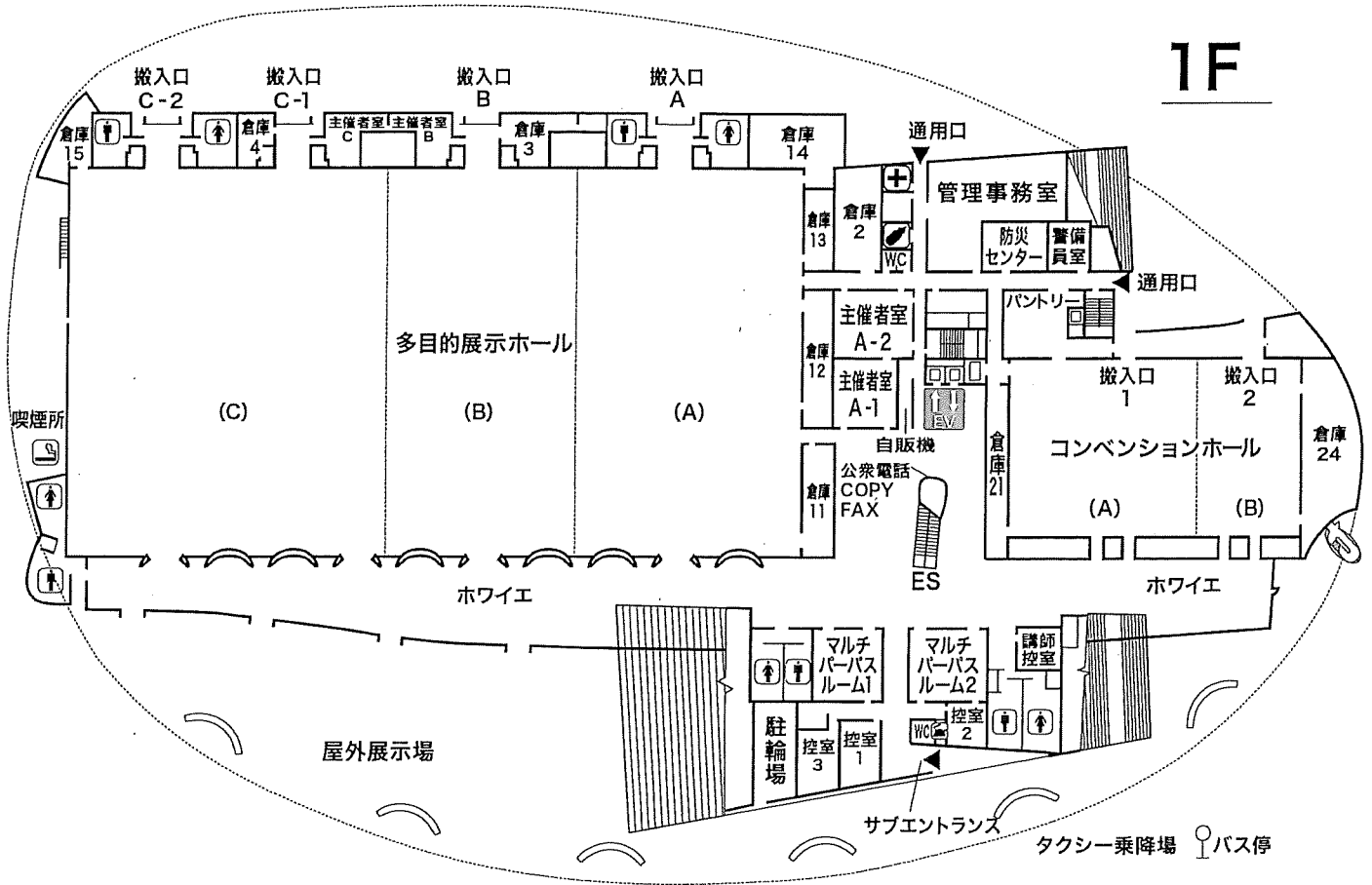
【控室】

用 途	会場名	備 考
全体会（開会式・表彰式・閉会式）	多目的展示ホールC	○スクール形式：900人収容。 ※26日より会場準備。 ※27日終了後、撤収作業。 ※28日は使用無し。 ※準備及び撤収作業については、専門業者へ依頼。
物置	主催者室C	○全大会で使用する道具等の保管。 ※準備及び撤収日時等については、上記多目的展示ホールCと同様。
物販・クローク	多目的展示ホールA	○衝立で区切り右半分をクローク、左半分を物販会場として使用。 ※26日より会場準備。 ※27日、28日の2日間使用し、28日終了後、撤収作業。 ※準備及び撤収作業については、専門業者へ依頼。
事務局（本部）	主催者室A-1・A-2	○受付準備、物品、弁当保管等。 ※準備及び撤収日時等については、上記多目的展示ホールAと同様。
分科会1会場	コンベンションホールA	○スクール形式：300人収容。 ※27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※準備及び撤収作業については、ビックパレット担当者と共同実施。
分科会2会場	コンベンションホールB	○シアター形式：300人収容。 ※27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※準備及び撤収作業については、ビックパレット担当者と共同実施。
分科会3会場	中会議室A・B	○シアター形式：300人収容。 ※27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※準備及び撤収作業については、ビックパレット担当者と共同実施。

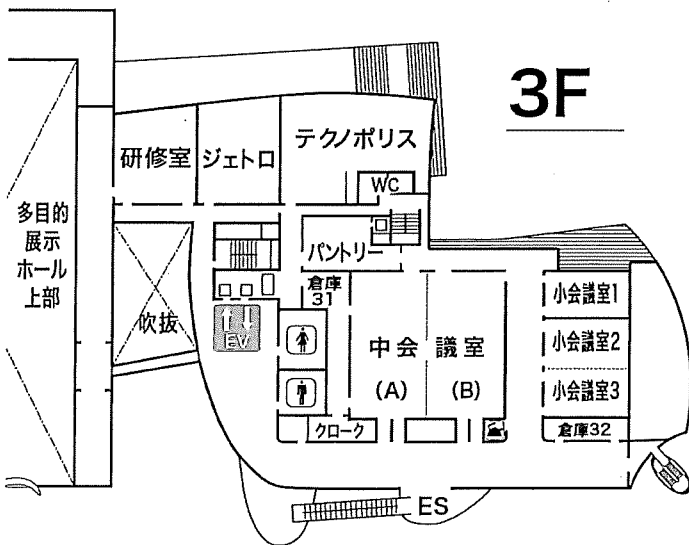
次期開催県（香川）控え室	控え室 1	○香川県知的障害者福祉協会視察団 ※ 27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。
次々期開催県（群馬）控え室	控え室 3	○群馬県知的障害者福祉協会視察団 ※ 27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。
司会者（和合敦子氏）控室	マルチパーパスルーム 1	○1日目全体会総合司会和合敦子氏 ※ 27日より会場準備、同日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。 ※1日目のみ使用、2日目司会なし。
大会スタッフ控室 I	マルチパーパスルーム 2	○大会スタッフの荷物置き場、着替え等。 ※スタッフの割合（男性、女性）を鑑み、連結している控え室 2 と分けて使用予定。
大会スタッフ控室 II	控え室 2	○マルチパーパスルーム 2 と連結。
救護室	講師控え室	○看護師常駐（2日間）。 ○救護に必要な物品の配備。 ※ 27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。
分科会 I 講師 （川島慶子氏、遊間和子氏） 控え室	小会議室 1	○児童発達支援部会、障害者支援部会分科会講師の控え室。 ※ 28日のみ使用予定としているが、27日からの使用も可能。講師の到着時間、分科会の準備調整に合わせて変更可能。
分科会 II 講師 （高橋俊史氏、岡田氏、高山直樹氏）控え室	小会議室 2	○日中活動支援部会、地域支援部会分科会講師の控え室。 ※ 28日のみ使用予定としているが、27日からの使用も可能。講師の到着時間、分科会の準備調整に合わせて変更可能。

分科会Ⅲ講師 (竹村和浩氏、志村健一氏) 控え室	小会議室 3	○生産活動・就労支援部会、人権・倫理委員会分科会講師の控え室。 ※28日のみ使用予定としているが、27日からの使用も可能。講師の到着時間、分科会の準備調整に合わせて変更可能。
表彰式受賞者控え室	研修室	○表彰者代表のリハーサル及び控え室。なお、表彰者代表については今後選任予定。 ※27日より会場準備、同日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。 ※1日目のみ使用、2日目なし。
来賓控え室	プレゼンテーションルーム	○厚労省、こども家庭庁、県庁、市長等、来賓者の控え室。 ※27日より会場準備、28日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。 ※円卓席にて準備予定。
会議室 I	特別会議室	○緊急な打合せ等にて使用。
基調講演講師控え室	特別室	○基調講演講師辻井いつ子氏の控え室。 ※27日より会場準備、同日終了後、撤収作業。 ※水分及びお茶菓子等準備。 ※1日目のみ使用、2日目なし。

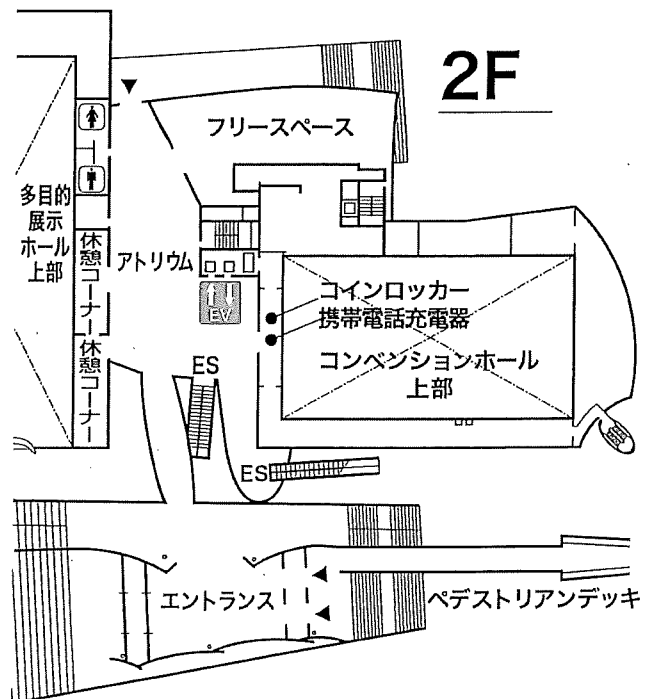
1F



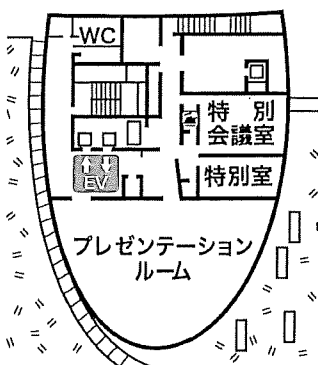
3F



2F



4F



ビッグパレットふくしま
館内ご案内

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

